

第138図 接合資料7(6)

接合資料12（第150図・第151図）

抉入石器が含まれる剥片接合資料で、集中部5から出土する。幅8cm、厚さ4cm程度の略板状の素材石核の狭い平坦面から数枚の連続剥片剥離を行い、次にそれまでの作業面に打点を移し、1枚剥片を剥離している。その後、また元の打面に戻り作業を再開している。抉入石器は、最初に剥離した剥片の側縁に剥離を施し製作される。

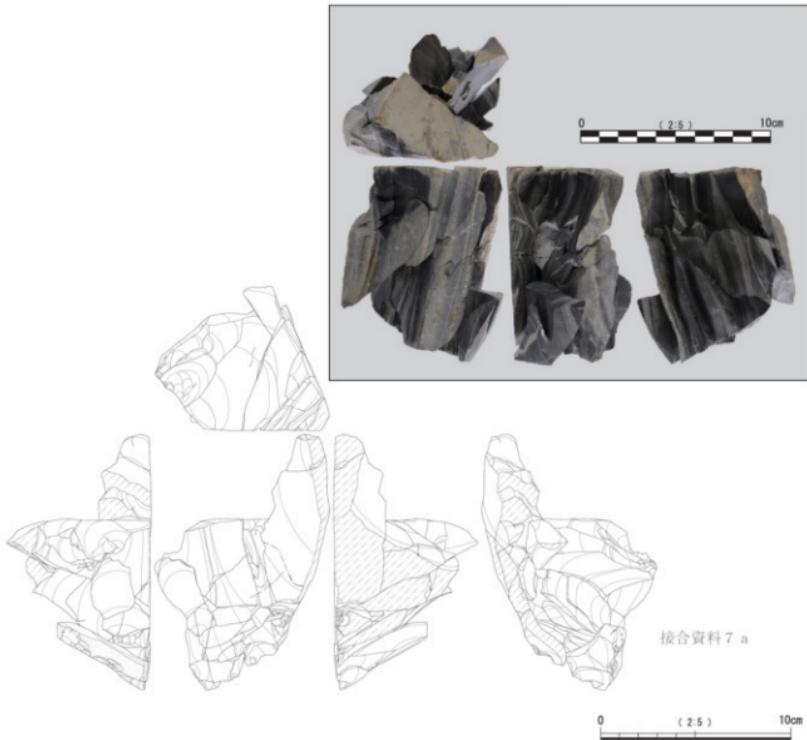
接合資料13（第152図・第153図）

抉入石器が含まれる剥片接合資料である。縱横に節理が発達する。節面から大きく剥がれてしまうため、剥片剥離に苦慮している様子が伺える。接合する剥片は、角柱状に剥離しているものが多く素材としては良質のものとはいえない。最初の剥離で得られた剥片を利用し側縁部に剥離を施し、抉入石器としている。

接合資料14（第154図～第158図）

剥片のみで構成される接合資料で、すべて集中部5で出土した剥片である。約7cm四方の角柱状の石核を利用して、長軸方向を意識した剥離を行っている。石材は節理、層理が発達しているが、剥離に影響を与えるほどではない。

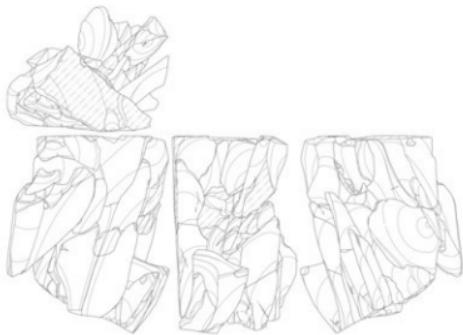
数回の打面再生を行い連続的に剥片剥離を行っている。目的的剥片は、長軸約5cmのやや短めの縱長剥片と想定される。剥片剥離の際は両極からの交互剥離が行われている。



第139図 接合資料7(7)



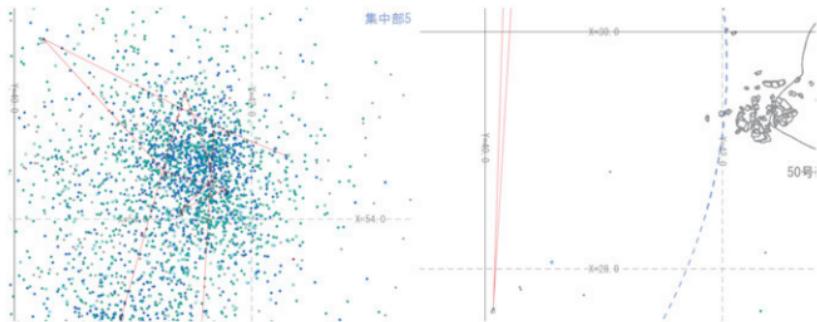
接合資料 7 b



接合資料 7 c

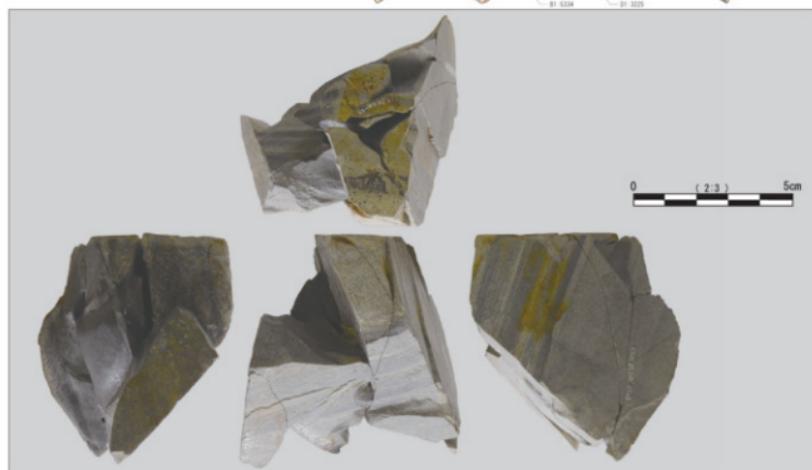
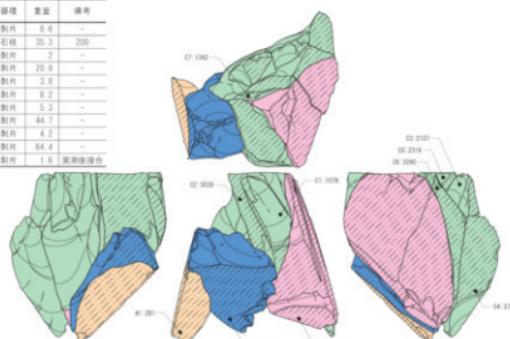


第140図 接合資料 7 (8)

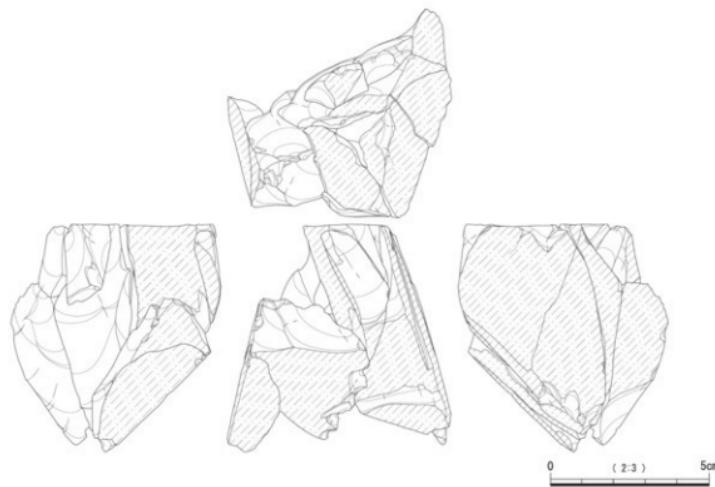


地質 剖面 記号	取点 番号	集中部 (D)	集中部 (C)	X座標	Y座標	層位	岩相	重さ	備考
B A1	281	集中部5		54.74	41.678	(41) 50b	12w	剥片	8.6 -
B B1	5334	エリヲフ		27.664	40.068	(41) 213	12w	石核	35.3 200
B C1	1076	集中部5		53.194	40.907	(41) 204	12w	剥片	2 -
B C2	3030	集中部5		50.069	41.436	(41) 207	12w	剥片	20.8 -
B C3	2107	集中部5		54.253	41.695	(41) 205	12w	剥片	3.8 -
B D4	54	集中部5		54.253	41.695	(41) 205	12w	剥片	5.2 -
B D5	2276	集中部5		54.253	41.70	(41) 247	12w	剥片	5.2 -
B D6	5980	集中部5		54.297	41.27	(41) 189	12w	剥片	44.7 -
B D7	1342	集中部5		55.53	40.244	(41) 205	12w	剥片	4.2 -
B D9	3025	集中部5		54.741	41.792	(41) 187	12w	剥片	64.4 -
B D10	763	集中部5		54.537	42.287	(41) 372	12w	剥片	1.6 実測深度

接8 剥離順：〔A1→B1〕…〔C1→C2→
〔C3+C4〕→C5→C6→C7→D1〕



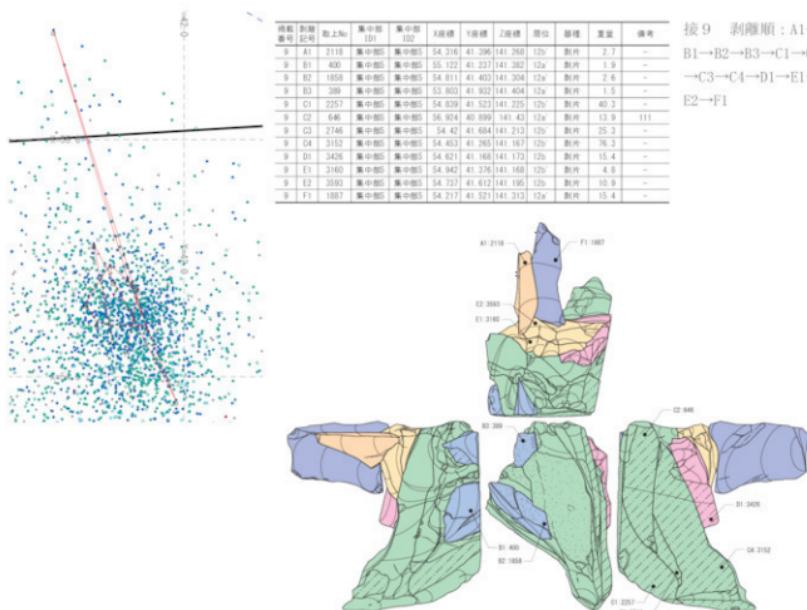
第141図 接合資料 B (1)



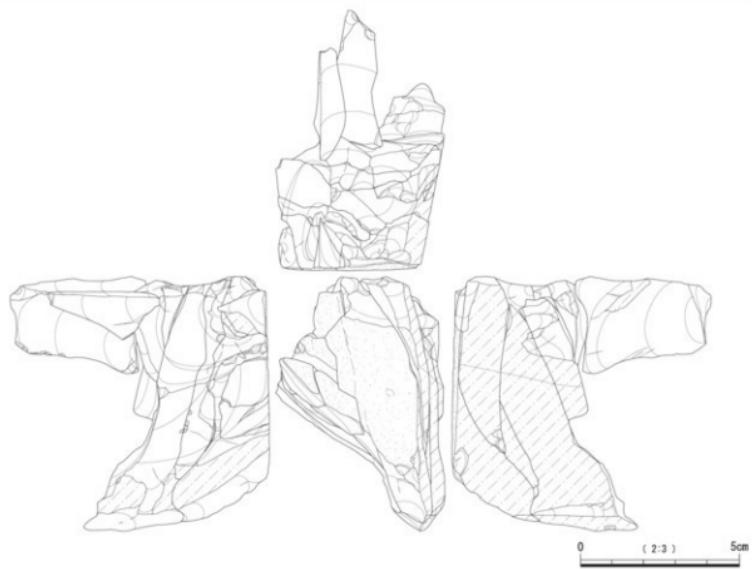
第142図 接合資料8 (2)

編号 記号	取上No.	集中部 (ID)	X座標 Y座標 Z座標	面積	周長	面積 面積	備考
9 A1	2118	集中部5	54.316 41.396 141.260	125	剖片	2.7	-
9 B1	400	集中部5	55.122 41.237 141.382	124	剖片	1.9	-
9 B2	1858	集中部5	54.811 41.403 141.304	124	剖片	2.6	-
9 B3	389	集中部5	53.053 41.832 141.404	124	剖片	1.5	-
9 C1	2257	集中部5	54.039 41.523 141.215	125	剖片	40.3	-
9 C2	646	集中部5	54.924 40.899 141.421	124	剖片	13.9	111
9 D3	2746	集中部5	54.42 41.604 141.213	125	剖片	25.3	-
9 E4	3157	集中部5	54.453 41.265 141.167	125	剖片	76.3	-
9 D1	3426	集中部5	54.621 41.168 141.172	125	剖片	15.4	-
9 E1	3160	集中部5	54.942 41.216 141.160	125	剖片	4.8	-
9 E2	3580	集中部5	54.227 41.112 141.195	125	剖片	10.9	-
9 F1	1887	集中部5	54.217 41.521 141.312	124	剖片	10.4	-

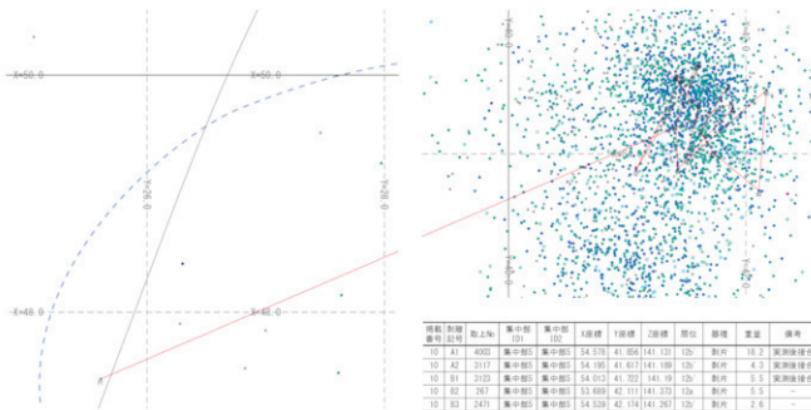
接9 剥離順: A1→
B1→B2→B3→C1→C2
→C3→C4→D1→E1→
E2→F1



第143図 接合資料9 (1)

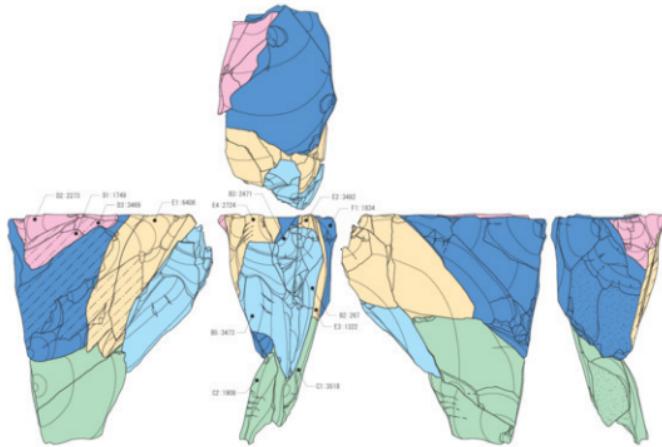


第144図 接合資料9 (2)

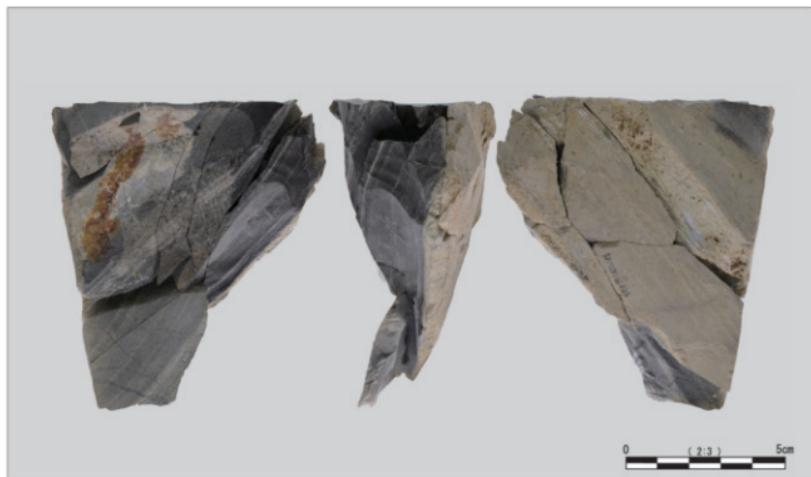


標番号	剖面番号	断面(上)	断面(下)	X座標	Y座標	Z座標	位相	理縫	重量	備考
10-A1	4003	集中部5	集中部5	54.578	41.056	[41]130	120	斜片	18.2	実測接合
10-A2	3117	集中部5	集中部5	54.195	41.617	[41]130	120	斜片	4.3	実測接合
10-B1	2125	集中部5	集中部5	54.013	41.722	[41]130	120	斜片	5.5	実測接合
10-B2	267	集中部5	集中部5	53.689	42.111	[41]130	120	斜片	5.5	-
10-B3	2471	集中部5	集中部5	54.539	42.174	[41]130	120	斜片	2.6	-
10-B4	355	集中部5	集中部5	53.674	41.427	[41]130	120	斜片	1.6	実測接合
10-B5	3473	集中部5	集中部5	54.742	41.406	[41]130	120	斜片	25.5	-
10-C1	2010	集中部5	集中部5	54.771	41.611	[41]130	120	斜片	30.0	-
10-C2	2011	集中部5	集中部5	54.771	41.611	[41]130	120	斜片	1.7	-
10-D1	1749	集中部5	集中部5	54.642	41.462	[41]130	120	斜片	5.5	-
10-D2	2770	集中部5	集中部5	54.661	41.611	[41]130	120	斜片	2.3	-
10-E1	3469	集中部5	集中部5	54.452	41.529	[41]130	120	斜片	0.8	-
10-E2	3460	集中部5	集中部5	54.423	41.467	[41]130	120	斜片	17.85	-
10-E3	3222	集中部5	集中部5	53.968	41.468	[41]130	120	斜片	3.4	-
10-E4	2734	集中部5	集中部5	54.422	41.879	[41]130	120	斜片	18.3	42
10-F1	1034	エリア2	集中部5	47.436	25.608	[40]130	120	右板	167.8	26

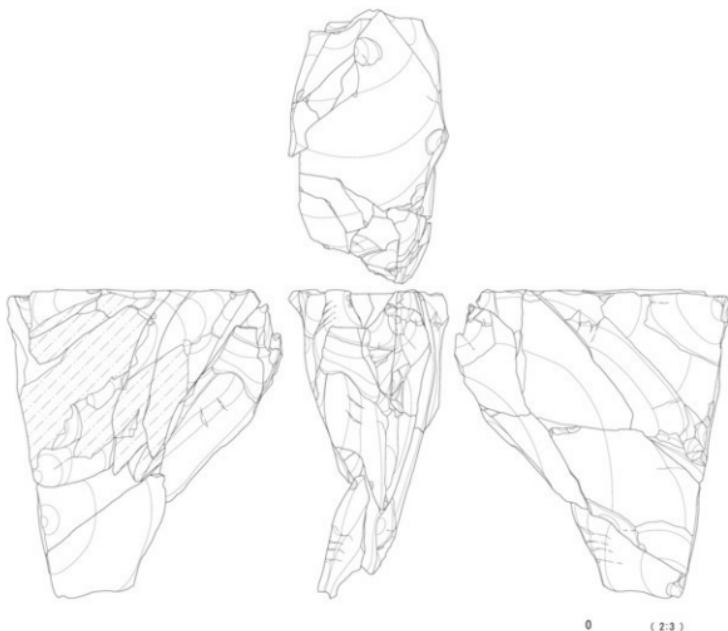
接10 剥離順： (A1→A2) →B1→B2→B3→ (B4+B5) →
(C1+C2) → (D1+D2+D3) →E1→ (E2+E3) →E4→F1



第145図 接合資料10 (1)



0 (2:3) 5cm



0 (2:3) 5cm

第146図 接合資料10 (2)

接合資料15（第159図～第161図）

出土の中心を集中部5とする石核接合資料で、石核のみエリア1：集中部2で出土する。厚さ約6cm、幅約10cm、長さ10cm以上の板状の礫を素材石核として剥離を行う。

石核を含むA～Fの剥離を先行して行っている。ここでは剥片を剥離しようとする意図は看取されず、大きな剥離が行われている。その後、A～Fを剥離し形成された面を調整剥離し打面を形成した後、それまでとは直交する方向に連続剥離を行っているものと推測される。

剥離が進行し、石核の幅、厚さが7cm×4cm程度になったところで、それまでの作業面に打面を転移し再度剥離を行っている。

接合資料16（第162図～第164図）

集中部5で出土した石核2点を含む石核接合資料である。母材となった石核は長さ約20cm、幅約10cm、厚さ約6cmの板状で直方体の形状であると推察できる。

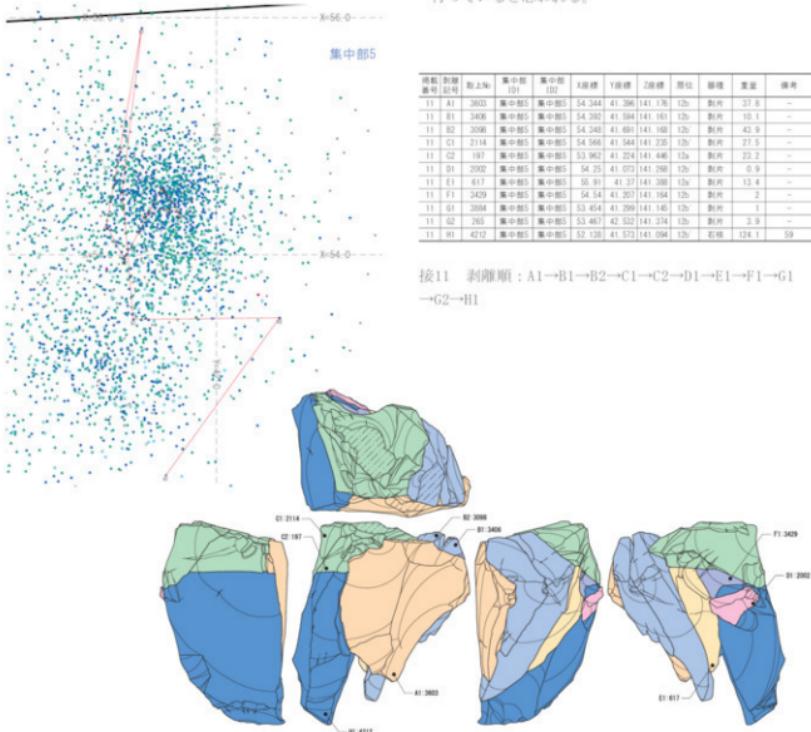
剥片が大きく、素材となる石核を形成するための粗割的な剥離が行われている。

接合資料17（第165図～第167図）

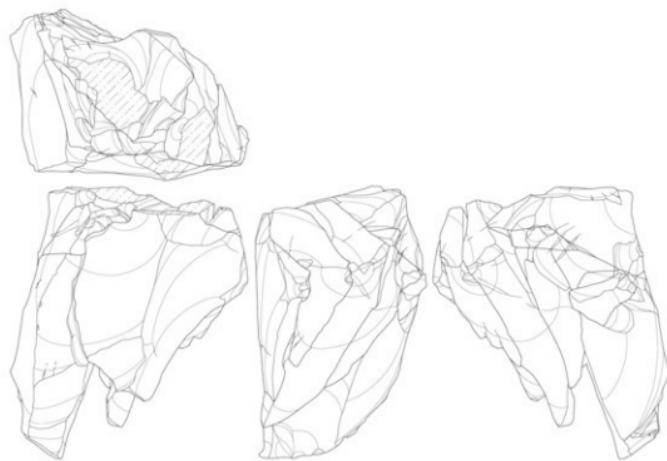
集中部5で出土した剥片接合資料である。石材は筋理、層理が発達し良好なものとはいえない。母材となる石核は細長い角礫である。

まず頭部を横向方に剥離し打面を形成、縱方向に剥離を行なうが、ヒンジにより良好な石材が得られていないが、それを利用して連続的な剥片剥離を行っている。

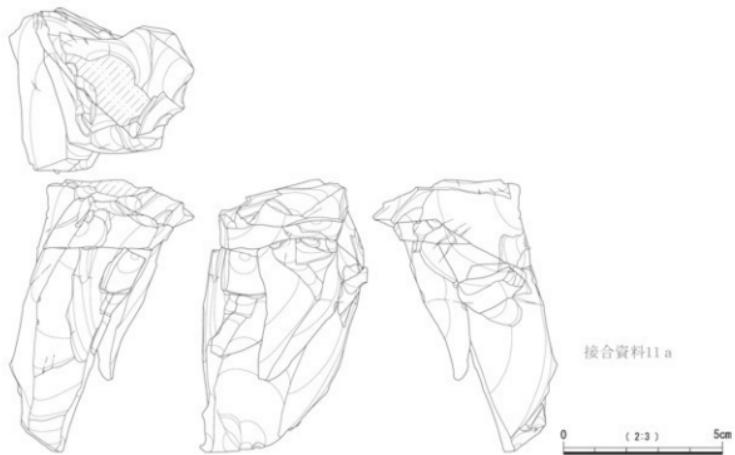
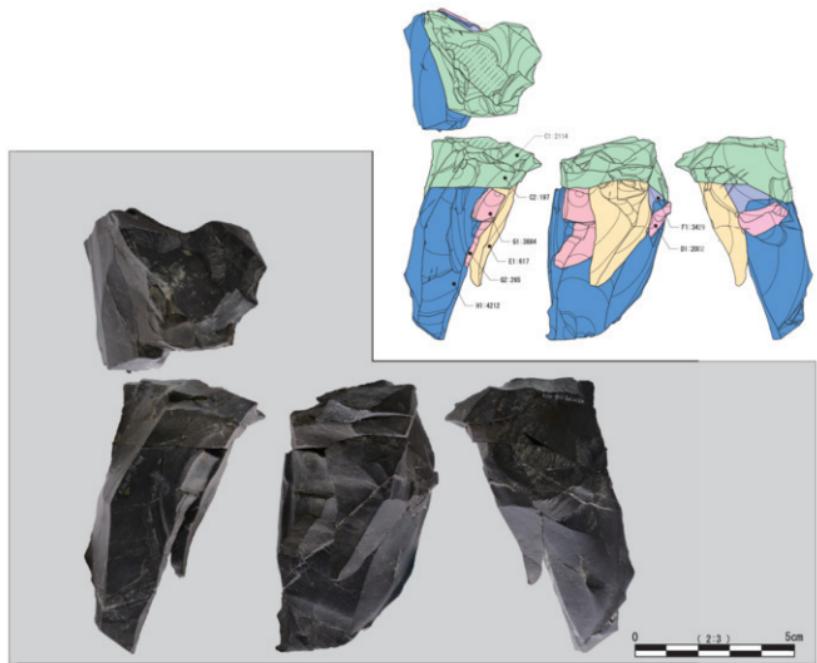
残りの石核も大きく2分割され、剥片剥離を行なっているが短軸方向に向かって剥離されており、石核調整を行なっていると思われる。



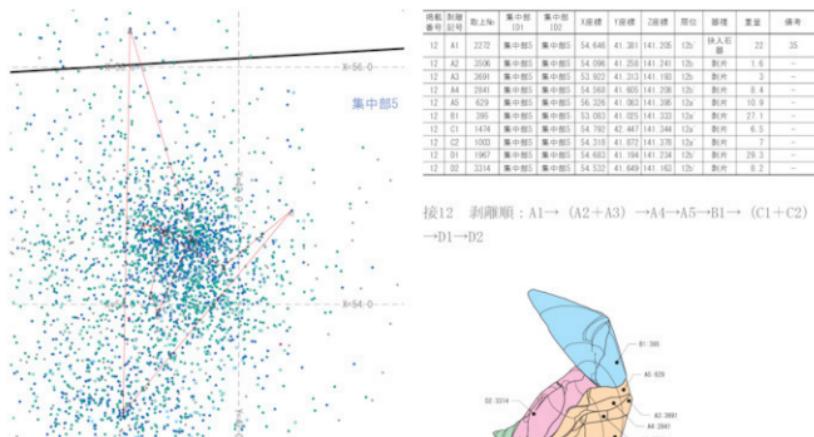
第147図 接合資料11（1）



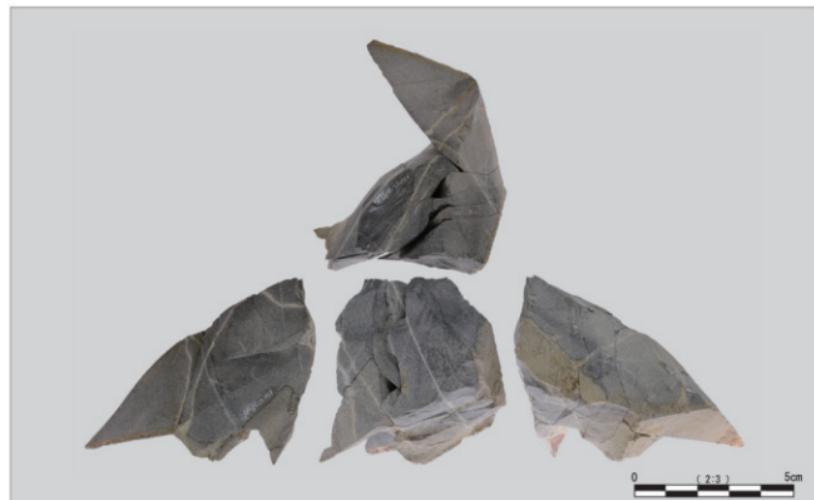
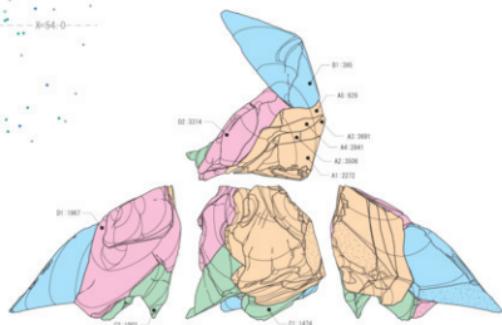
第148図 接合資料11(2)



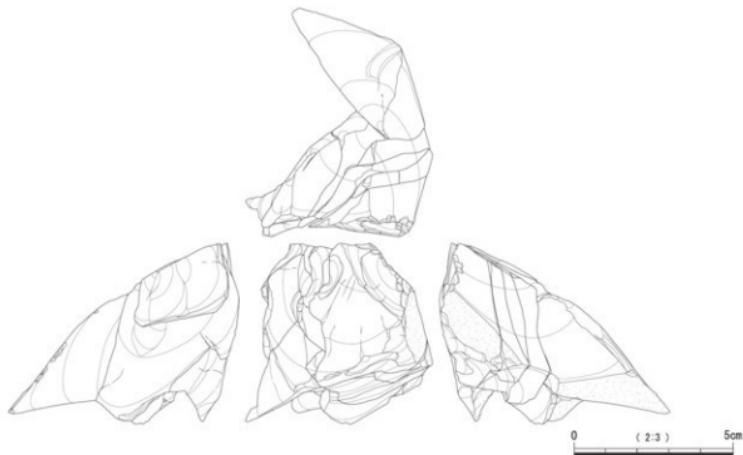
第149図 接合資料11 (3)



接合12 剥離順 : A1 → (A2+A3) → A4 → A5 → B1 → (C1+C2)
→ D1 → D2



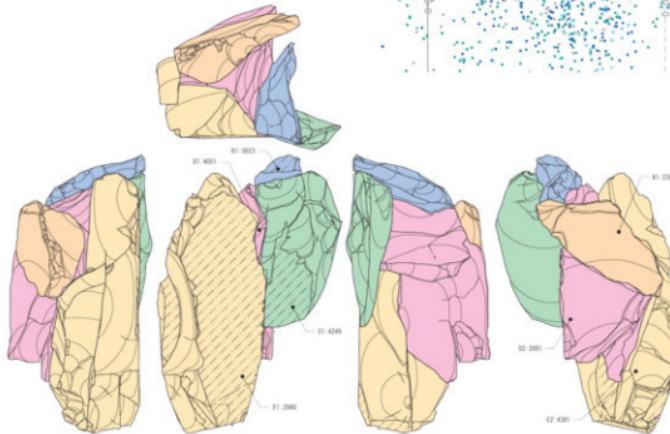
第150図 接合資料12 (1)



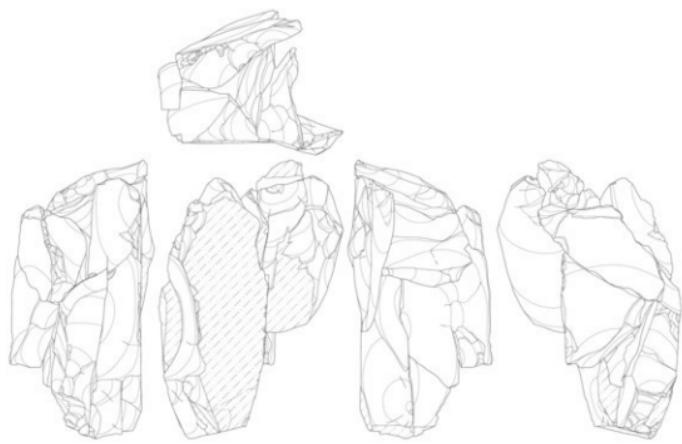
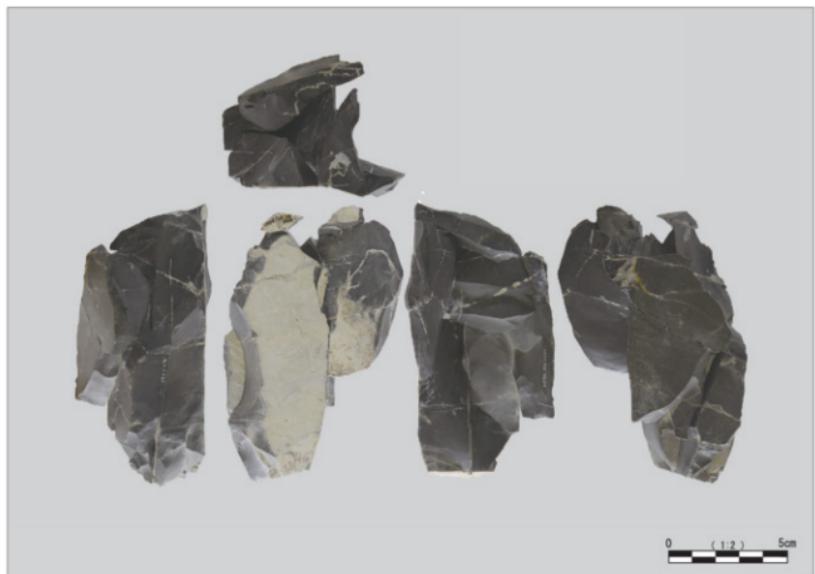
第151図 接合資料12 (2)

標本	剥離	取上場	集中部	集中部	X座標	Y座標	Z座標	面積	厚さ	備考
13 A1	2354	集中部	52-697	41.121	[41.238]	120	嵌入石	24.2	30	
13 B1	2623	集中部	53-04	40.649	[41.151]	120	断片	9.2	-	
13 C1	4249	集中部	53-2	40.979	[41.142]	120	断片	36.3	-	
13 D1	4051	集中部	52-062	40.992	[41.196]	120	断片	30.7	-	
13 D2	2990	集中部	52-163	40.892	[41.222]	120	断片	65.2	-	
13 E1	2354	集中部	52-464	41.453	[41.217]	120	断片	119.6	-	
13 E2	4381	集中部	53-75	41.468	[41.031]	120	断片	32.6	-	

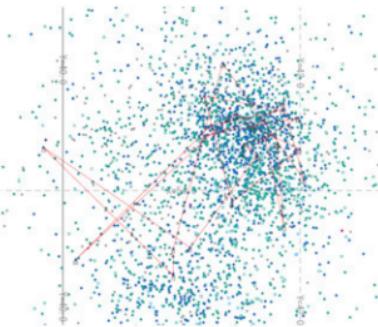
接13 剥離順: A1→B1→C1→ (D1+D2) → (E1+E2)



第152図 接合資料13 (1)

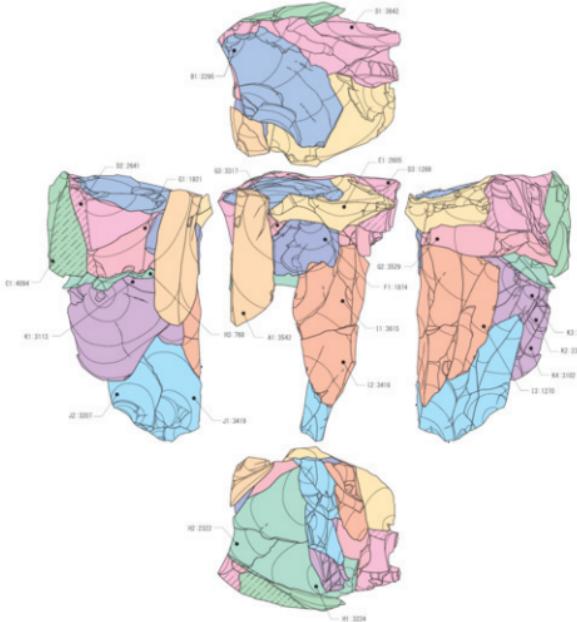


第153図 接合資料13 (2)



接14 剥離順：(A1) … (A2) → [B1→C1→D1→D2→
D3→E1→F1→F2→G1→ (G2+G3)→H1→H2→H3] →
[(I1+I2)→J3→J1→J2→K1→ (K2+K3) →K4]

編號	剖面 番号	取上號	集中部 (1)	集中部 (2)	X座標	Y座標	Z座標	層位	整理	重量	備考
14_A1	3542		集中部	53.815	54.322	41.53	141.196	126	剥片	15.5	-
14_A2	2711		集中部	54.635	41.89	141.23	126	剥片	1.4	翼狀複合	
14_B1	2295		集中部	54.467	41.196	141.238	126	剥片	26.7	-	
14_C1	4029		集中部	54.58	41.585	141.13	126	剥片	25.3	-	
14_D1	3842		集中部	54.645	41.457	141.14	126	剥片	5.3	-	
14_E1	2641		集中部	54.615	41.396	141.206	126	剥片	37.2	-	
14_E2	1780		集中部	54.615	41.419	40.141	126	剥片	23.3	-	
14_F1	2485		集中部	54.615	41.249	141.198	126	剥片	34.2	-	
14_G1	1924		集中部	54.679	41.857	141.219	126	剥片	1.9	-	
14_H1	2354		集中部	54.785	41.19	141.187	126	剥片	2	-	
14_G1	1821		集中部	54.825	41.424	141.216	126	剥片	33.2	-	
14_G2	3529		集中部	54.352	41.866	141.105	126	剥片	20.3	-	
14_G3	3317		集中部	54.536	41.603	141.189	126	剥片	16.1	-	
14_H1	3224		集中部	54.736	41.857	141.197	126	剥片	11.9	123	
14_H2	2322		集中部	54.594	42.031	141.261	126	剥片	5.9	-	
14_H3	765		集中部	55.076	41.347	141.425	126	剥片	4.8	-	
14_I1	3615		集中部	53.51	40.93	141.158	126	剥片	18.1	-	
14_I2	3416		集中部	53.285	40.859	141.196	126	剥片	8.2	-	
14_I3	1720		集中部	54.365	39.835	141.246	126	剥片	12.6	-	
14_J1	3419		集中部	53.521	41.072	141.226	126	剥片	12.1	91	
14_J2	2207		集中部	54.2	41.62	141.143	126	剥片	6.8	108	
14_K1	2112		集中部	54.454	41.72	141.211	126	剥片	10.3	-	
14_L1	2105		集中部	54.485	41.792	141.256	126	剥片	2.5	-	
14_M1	2777		集中部	53.705	41.967	141.232	126	剥片	7.7	-	
14_N1	2102		集中部	54.402	41.865	141.165	126	剥片	17.1	-	



第154図 接合資料14 (1)

接合資料18（第168図～第170図）

集中部5で出土した石核接合資料で、節理面で割れた細長い角礫を母材として剥離を行っている。実測後接合した剥片から形状が判明した。石材はやや層理が発達するが、大きな節理は見られない比較的良好な石材である。A～C部分と、それ以降で剥離方法が異なる。

まず、A～C部分ではA・Bを剥離し打面形成の上、連続したCの剥離を行う。D以降は、長軸方向に石材を持ち替え紙長剥片素材を剥離し適宜、打面再生を行いながら作業を継続している。目的的剥片の長さは約6cm程度と想定される。

接合資料19（第171図～第174図）

集中部5を中心に出土する二次加工剥片を含む石核接合資料である。石材は層理がやや発達する厚さ約5cmの板状の母材を利用する。Aから分離された石核を利用し、両極からの剥離が進められている目的的剥片は長さ6cm前後と考えられるが、良好な剥片は得られていない。



第155図 接合資料14（2）

接合資料20（第175図・第176図）

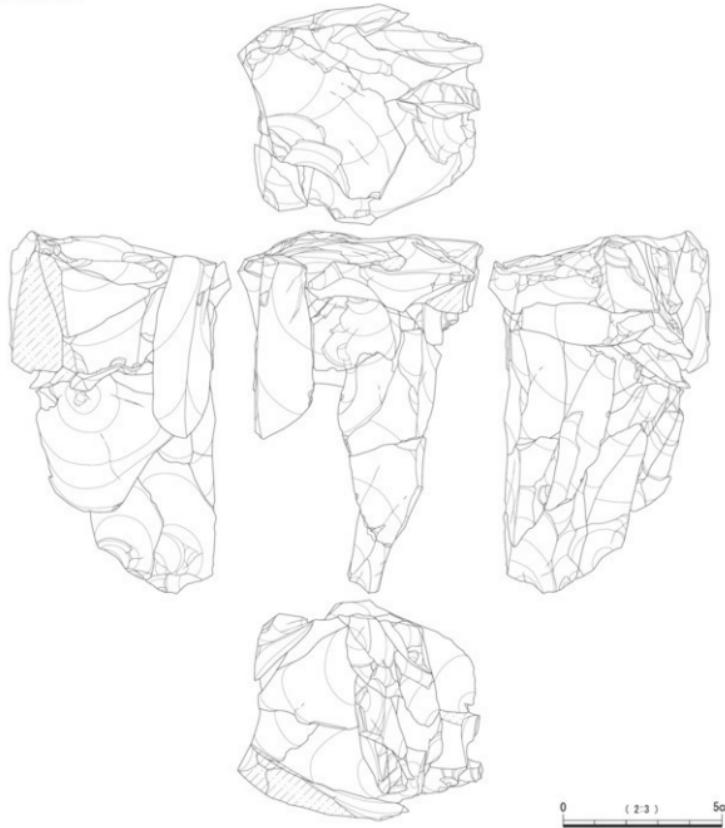
集中部5を中心に出土する石核接合資料である。縞状に層理が発達する石材を使用している。石核はE-3区エリア外で出土し、剥片1点はエリア9から出土している。ほぼ同一方向からの大きめの剥離により、打面形成や打面調整を行っている。

本体の石核については、見つかっていない。

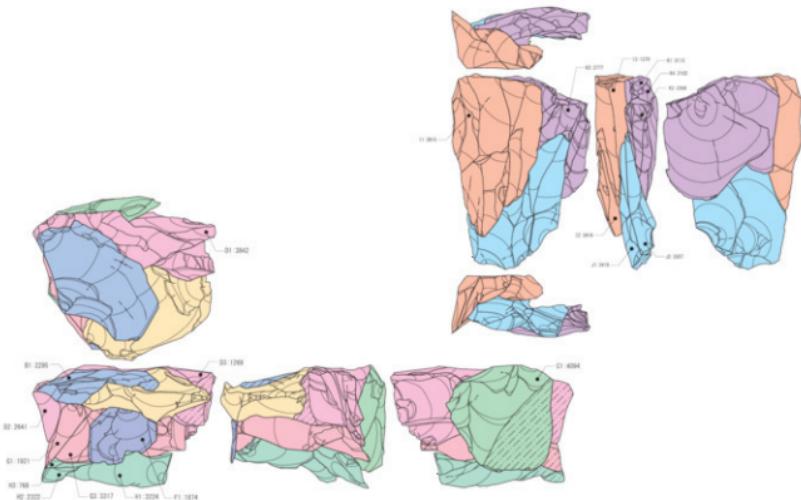
頂部からの打撃によりA～G, H～Oに分割され、それぞれで剥離を進めている。打面を転移しながら様々な角度で剥離を行っているが、定型的な剥片はほとんど剥離できていない。

接合資料21（第177図～第181図）

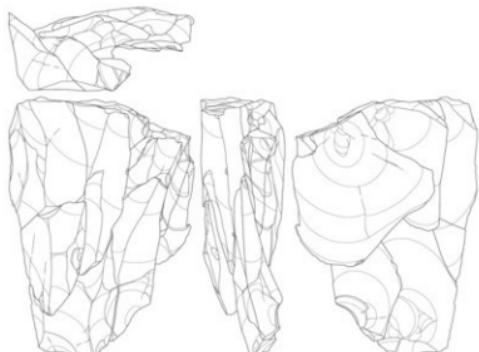
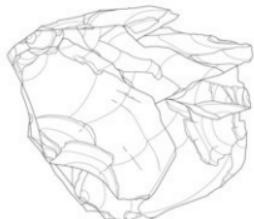
集中部5を中心に出土する二次加工剥片を含む剥片接合資料である。石材は節理が不規則に発達し、細かい層理も発達する。当初の素材は、小児頭大ほどはあったものと推測される。



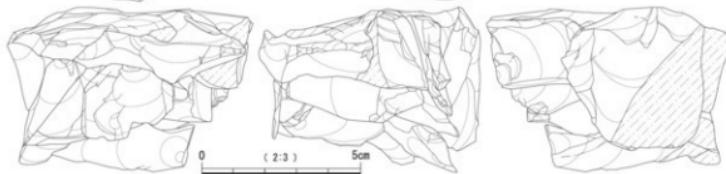
第156図 接合資料14（3）



接合資料14 a



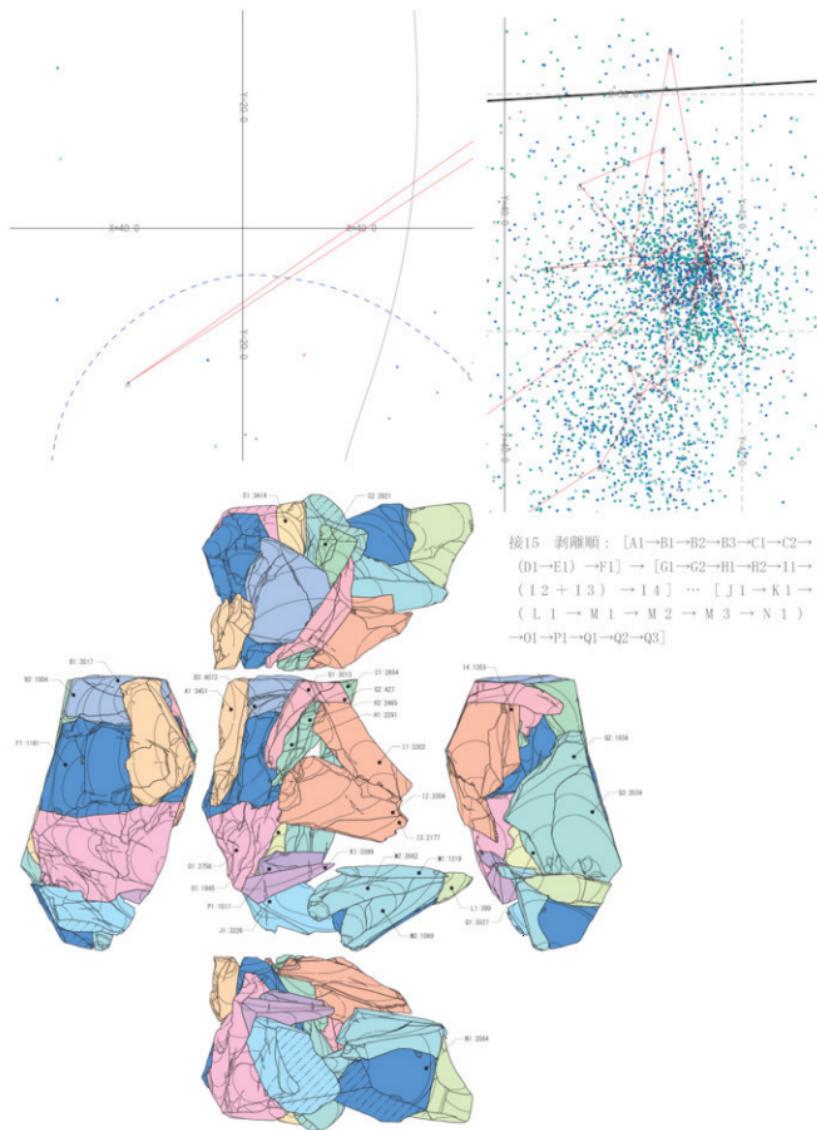
接合資料14 b



第157図 接合資料14 (4)



第158図 接合資料14(5)



第159図 接合資料15（1）

現物 番号	剖面 記号	勘上名	集中部 (1)	X座標	Y座標	Z座標	層位	整理	重量	備考
15-A1	3451	集中部5	集中部5	54.995	41.743	(41.185)	12b	剥片	18.3	-
15-B1	3517	集中部5	集中部5	54.837	41.657	(41.151)	12b	剥片	8.4	-
15-B2	1004	集中部5	集中部5	54.329	41.773	(41.265)	12b	剥片	15	-
15-B3	4073	集中部5	集中部5	54.195	41.331	(41.131)	12b	剥片	7.4	-
15-C1	2654	集中部5	集中部5	54.459	41.731	(41.247)	12b	剥片	4.6	-
15-C2	2821	集中部5	集中部5	55.342	41.642	(41.216)	12b	剥片	4.9	-
15-D1	2796	集中部5	集中部5	54.230	41.616	(41.211)	12b	剥片	87.4	-
15-E1	2414	集中部5	集中部5	52.865	40.854	(41.172)	12b	剥片	8	-
15-F1	1180	2.2.2.1	集中部5	56.696	39.034	(40.705)	12b	岩核	116.5	0



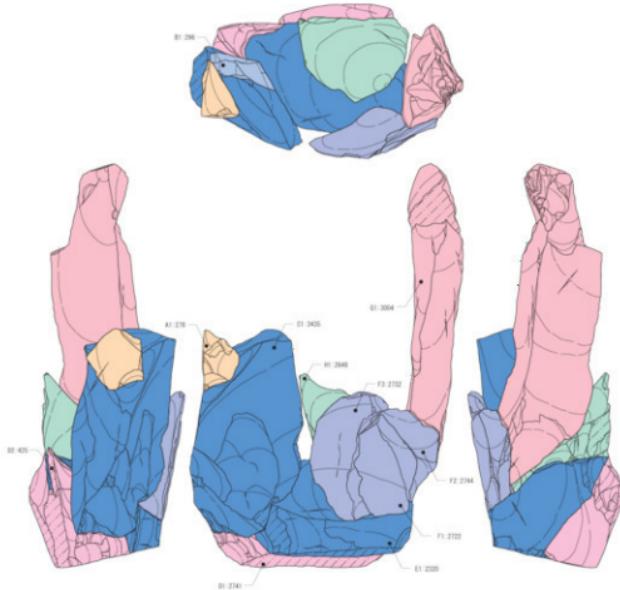
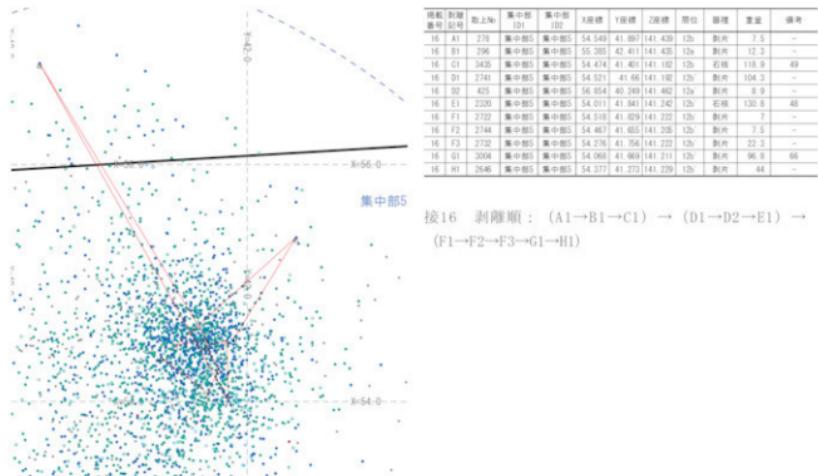
第160図 接合資料15 (2)

機械 番号	割離 部品名	取上No.	集中部 (1)	集中部 (2)	X座標	Y座標	Z座標	周位	面積	備考
15_R1	3398	集中部5	集中部5	54.276	41.438	141.224	12h	剖片	5.2	-
15_L1	399	集中部5	集中部5	55.235	40.633	141.451	12h	剖片	10.1	-
15_W1	1319	集中部5	集中部5	50.542	41.339	141.319	12h	剖片	3.6	-
15_R2	2542	集中部5	集中部5	53.451	41.365	141.175	12h	剖片	6.6	-
15_W2	1009	集中部5	集中部5	53.704	41.06	141.347	12h	剖片	12.3	-

機械 番号	割離 部品名	取上No.	集中部 (1)	集中部 (2)	X座標	Y座標	Z座標	周位	面積	備考
15_N1		3564	集中部5	集中部5	53.466	41.022	141.230	12h	剖片	29
15_O1		1946	集中部5	集中部5	53.726	41.65	141.276	12h	剖片	2.7
15_P1		1511	集中部5	集中部5	54.332	41.584	141.399	12h	剖片	2.4
15_Q1		3527	集中部5	集中部5	54.509	41.729	141.159	12h	剖片	5.9
15_Q2		1934	集中部5	集中部5	53.885	42.025	141.29	12h	剖片	22.9
15_Q3		3524	集中部5	集中部5	54.451	41.702	141.196	12h	剖片	15



第161図 接合資料15 (3)



第162図 接合資料16 (1)

接合資料22（第182図～第188図）

集中部5から出土した石核3点を含む石核接合資料である。厚さ約5cmの板状灘を最初の一撃で2から3分割し、それぞれで目的剥片剥離を進めている。

剥離は、打面形成のための剥離を行い調整等を施した上で、両極から行っている。剥片が接合しているもの、剥離の痕跡が残る石核から目的的剥片の長さは約5cm～6cmと想定される。

れる。打面調整を行いながら順次剥離を進めている。

当初の剥片剥離は大きくを行い、打面形成時には細かな剥離を行い、丁寧に打面を形成している。

打面調整剥片が接合しているため階段状を呈した接合資料となっている。

執筆途中に接合資料9と接合した。その結果両極からの剥離を行っていることが明白となった。

接合資料23（第189図～第191図）

集中部5から出土した、台形石器を含む石核接合資料である。母材は厚さ約5～6cmの板状の直方体と想定さ



第163図 接合資料16（2）

接合資料24（第192図～第194図）

集中部5で出土した抉入石器を含む石核接合資料である。素材となった礫は、高さ15cm以上、幅7cm以上、厚さ4cm以上の角柱状の礫と推測される。

母材を大きく分割しているが、平坦な裏面に礫皮面が残存している。

まず、裏面の礫皮部分を大きく剥離し、さらに側面を剥離する。その後、内面の良質な部分を連続して剥離し、打面を形成している。

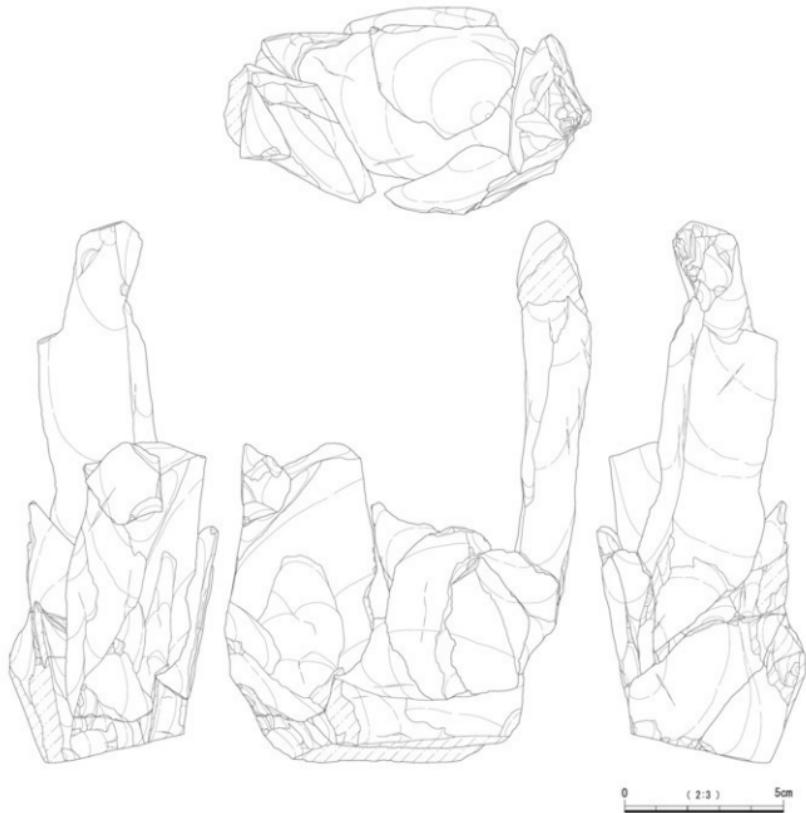
打面形成後は長さ約5cmの斜軸となる剥片を剥離していると想定される。

接合資料25（第195図～第197図）

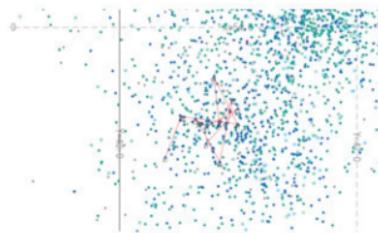
集中部5を中心に出土する石核接合資料である。1点のみエリア1の集中部外で出土した剥片が接合する。

石材は目的的剥片の剥離方向に層理がやや発達する。縦長に剥片を数枚剥離したのち、打面調整を行い、さらに数枚の目的的剥片を剥離する。

剥離が進行し石核が小型化すると、それまでの打面とは反対側に平坦面を形成し両極からの剥離を行っている。

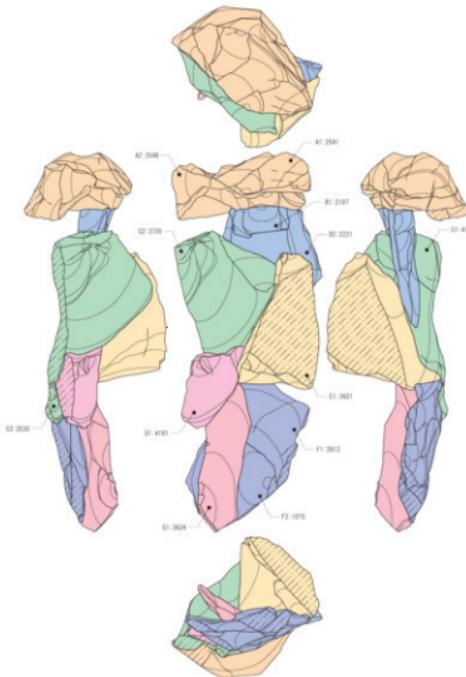


第164図 接合資料16（3）



編番	記号	断面	裏中筋	裏中筋	外側	YB側	ZB側	層位	緯度	東経	深度
			(1)	(102)							
17	A1	2541	裏中筋	52.964	40.385	141.294	120	剥片	21.9	-	-
17	A2	2541	裏中筋	53.240	40.371	141.225	120	剥片	20.3	-	-
17	B1	2197	裏中筋	53.185	40.985	141.298	120	剥片	1.1	-	-
17	B2	2221	裏中筋	53.587	40.784	141.26	120	剥片	23.6	-	-
17	C1	4140	裏中筋	53.983	40.84	141.123	120	剥片	2.7	-	-
17	D1	3736	裏中筋	53.387	40.955	141.151	120	剥片	59.4	-	-
17	D2	2530	裏中筋	52.966	40.843	141.22	120	剥片	1.8	-	-
17	E1	4162	裏中筋	52.967	40.941	141.194	120	剥片	1.7	-	-
17	F1	2191	裏中筋	53.087	40.639	141.169	120	剥片	52.9	-	-
17	F2	2012	裏中筋	53.085	40.961	141.216	120	剥片	21	-	-
17	F3	1025	裏中筋	53.215	40.987	141.309	120	剥片	10.4	-	-
17	G1	3624	裏中筋	53.019	40.72	141.169	120	剥片	11.4	-	-

接17 剥離順 : (A1→A2→B1→B2) → [C1→(C2+C3)
→D1] ⋯ [E1→F1→F2→G1]

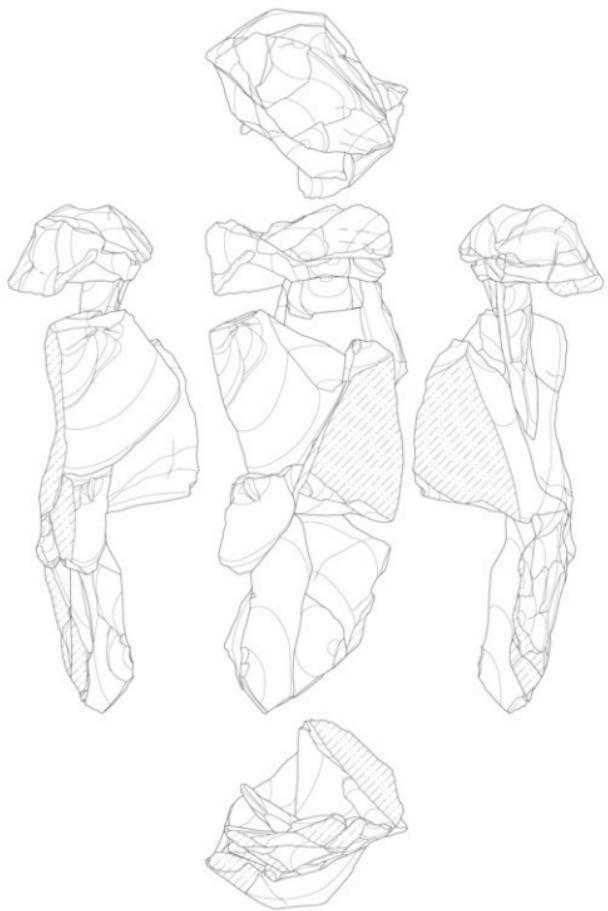


第165図 接合資料17 (1)



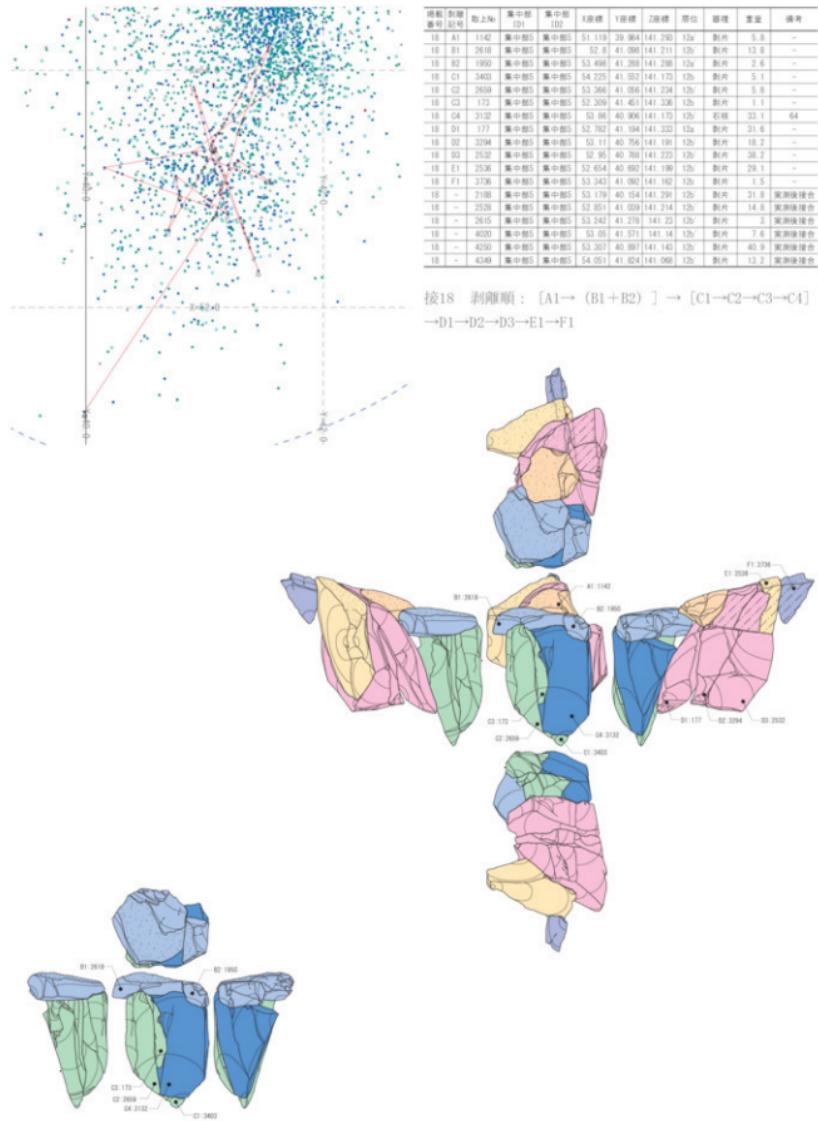
0 (2:3) 5cm

第166図 接合資料17(2)



0 (2:3) 5cm

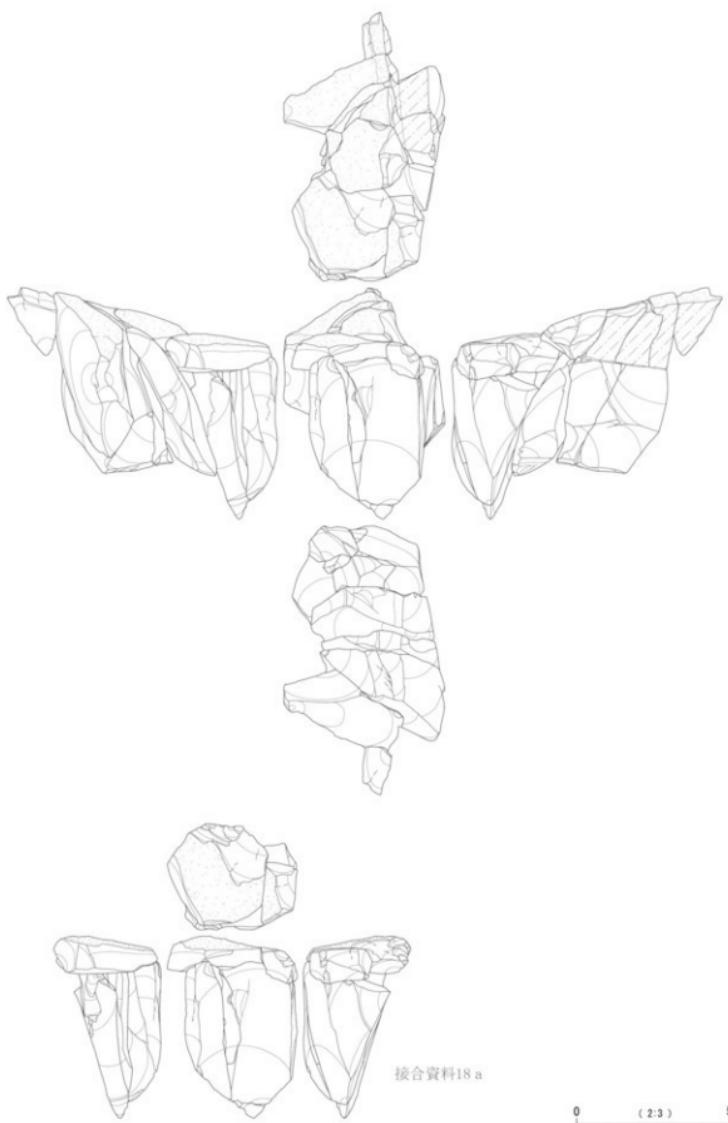
第167図 接合資料17 (3)



第168図 接合資料18 (1)



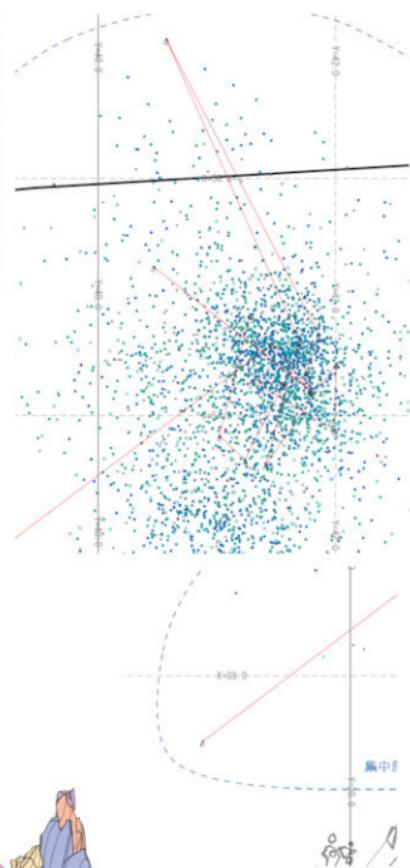
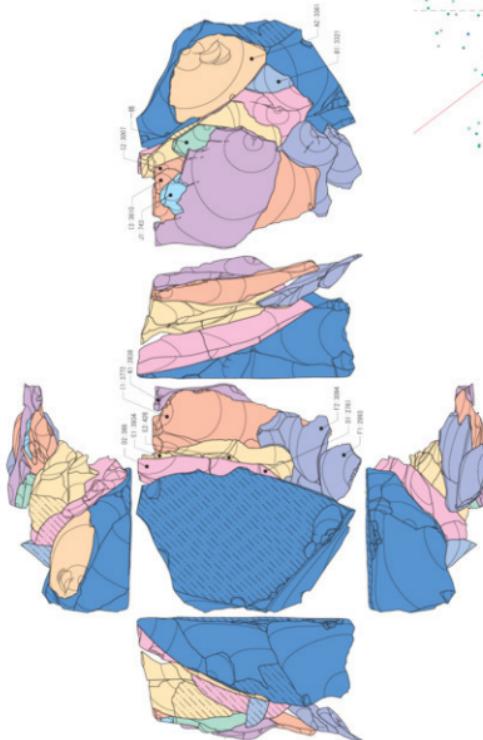
第169図 接合資料18(2)



第170図 接合資料18 (3)

成形 番号	割付 番号	取上番号	集中番 (D)	集中番 (D)	X座標	Y座標	Z座標	層位	種類	重量	備考
19-A1	5089	エリクソ	集中番2	37.443	19.753	140.728	12b	右柱	190.5	9	
19-A2	3261	集中番5	集中番5	54.602	41.467	(41.202)	12b	削片	10.8	-	
19-B1	3221	集中番5	集中番5	54.217	41.784	141.181	12b	削片	2.1	-	
19-C1	584	集中番5	集中番5	55.254	40.47	141.389	12b	削片	0.6	-	
19-D1	2761	集中番5	集中番5	54.207	41.794	(41.225)	12b	削片	34.8	-	
19-E1	2804	集中番5	集中番5	54.374	41.757	(41.421)	12b	二重削片	8.2	44	
19-F1	2716	集中番5	集中番5	54.683	41.66	(41.140)	12b	削片	4.8	-	
19-G1	2992	集中番5	集中番5	57.172	40.576	(41.405)	12b	削片	2.8	-	
19-H1	3610	集中番5	集中番5	54.632	41.697	(41.217)	12b	削片	26.2	-	
19-I1	742	集中番5	集中番5	53.58	41.411	(41.204)	12b	削片	2	-	
19-J1	3094	集中番5	集中番5	54.430	42.059	(41.201)	12b	削片	9.6	-	
19-K1	4009	集中番5	集中番5	52.879	41.993	(41.182)	12b	削片	0.5	-	
19-L1	-181	-	-	-	-	-	-	削片	4.8	-	
19-M1	3772	集中番5	集中番5	54.292	41.297	(41.132)	12b	削片	25	103	
19-N1	2007	集中番5	集中番5	54.272	41.569	(41.210)	12b	削片	4.7	-	
19-O1	3610	集中番5	集中番5	53.626	41.238	(41.177)	12b	削片	0.9	-	
19-P1	742	集中番5	集中番5	53.927	41.024	(41.205)	12a	削片	1.4	-	
19-Q1	2538	集中番5	集中番5	54.054	41.252	(41.228)	12a	削片	12	132	

接19 剥離順： (A1+A2) → B1 → [C1 → (D1+D2)] → (E1+E2) → E3 → F1 → F2 → G1 → H1 → I1 → I2 → I3 → J1 → K1



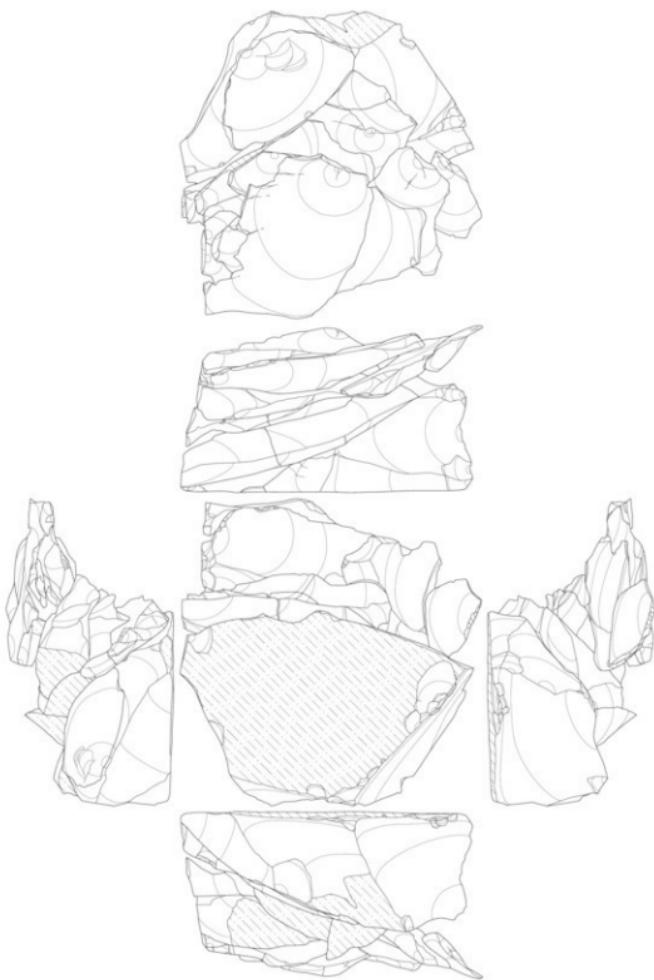
第171図 接合資料19 (1)

第172図 接合資料19（2）

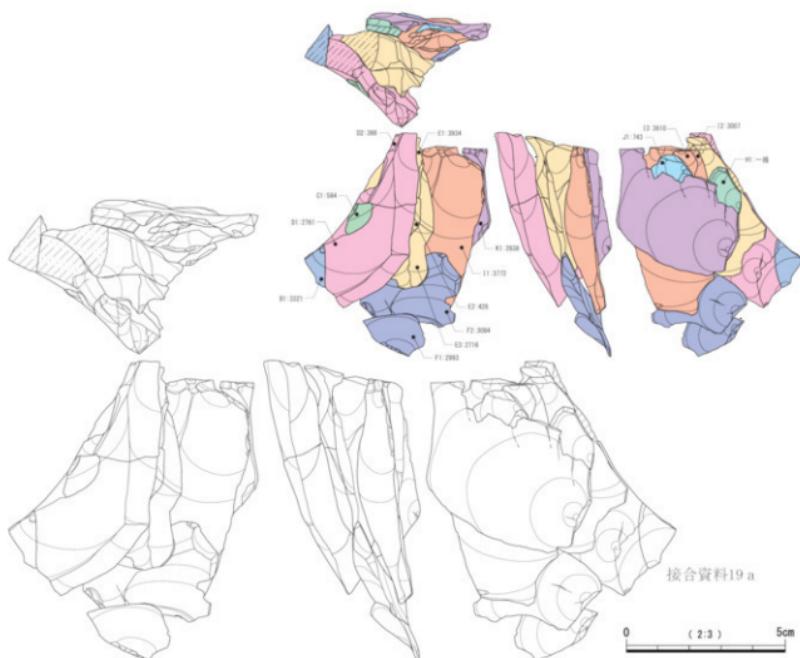
0 (2.3) 5cm



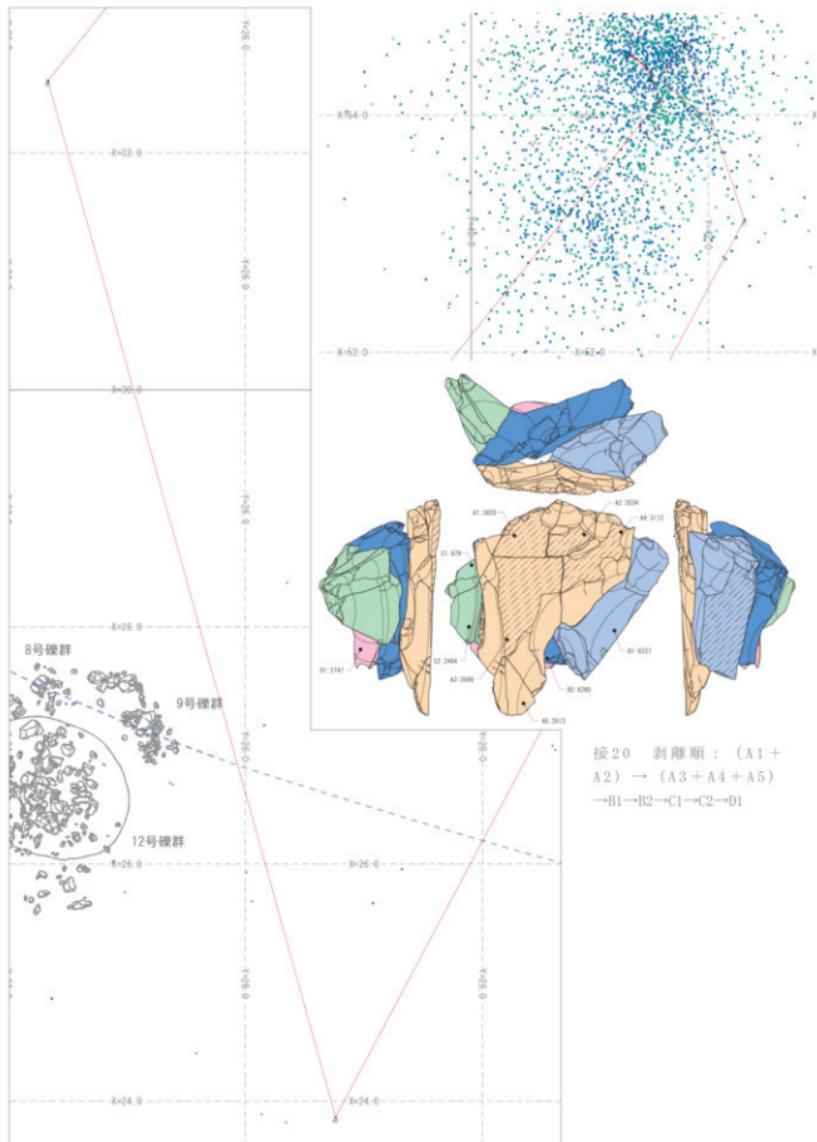
0 (2.3) 5cm



第173図 接合資料19 (3)



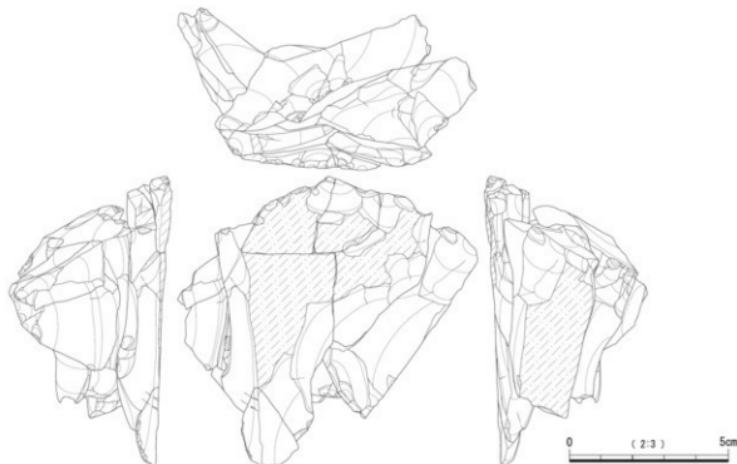
第174図 接合資料19 (4)



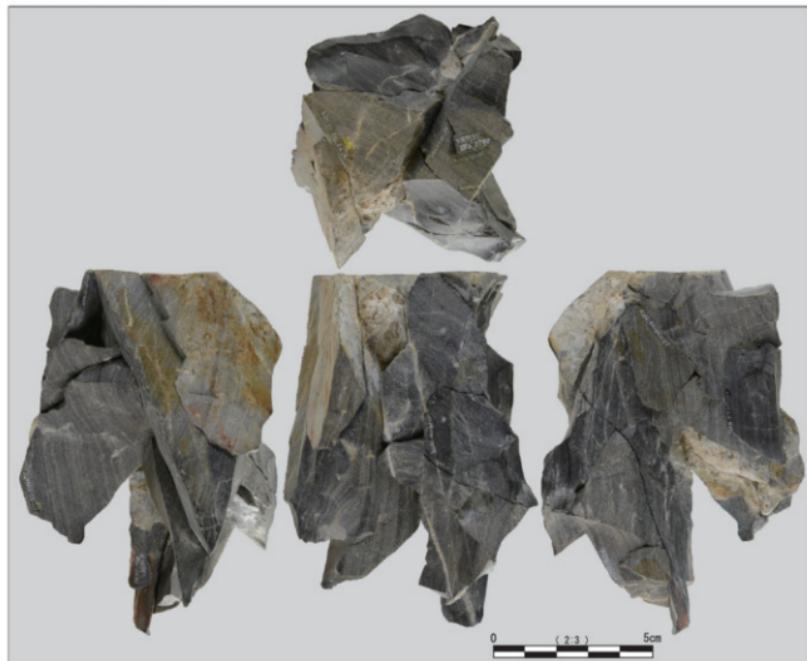
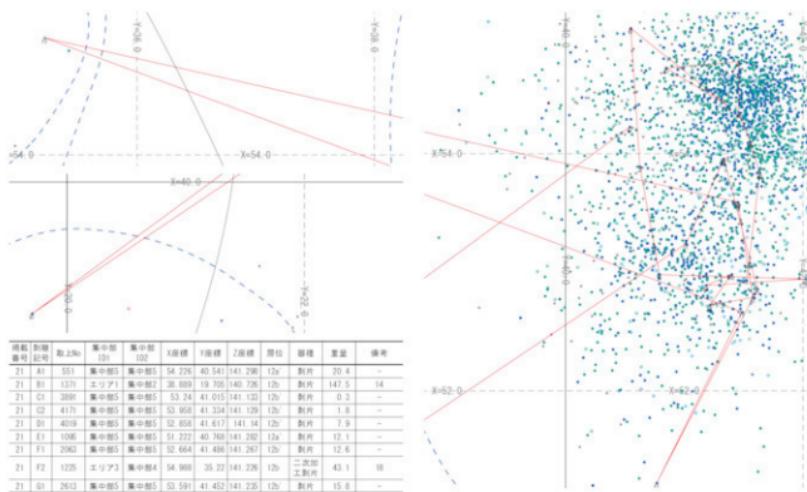
接20 剥離順：(A1+A2) → (A3+A4+A5)
 →B1→B2→C1→C2→D1

第175図 接合資料20 (1)

段階 遺物 記号	取扱 記号	出土No. (1)	集中部 102	X座標	Y座標	Z座標	層位	種類	重量	備考
20	A1	3828	集中部5	54.014	41.929	141.19	12b	剥片	3.4	-
20	A2	3534	集中部5	54.529	41.221	141.16	12b	剥片	2.4	-
20	A3	3589	集中部5	54.421	41.462	141.21	12b	剥片	3.7	-
20	A4	3112	集中部5	54.324	41.509	141.21	12b	剥片	12.3	-
20	A5	2513	集中部5	54.126	41.59	141.252	12b	剥片	2	-
20	B1	6227	エリヤ9	32.607	24.326	140.996	12b	剥片	71.3	-
20	B2	6280	集中部外 剥片	33.864	26.761	141.174	12b	石核	102.6	217
20	C1	879	集中部5	53.117	42.303	141.322	12a	剥片	2.8	-
20	C2	2464	集中部5	54.624	41.896	141.203	12b	剥片	15.9	-
20	D1	2747	集中部5	54.403	41.647	141.298	12b	剥片	13.9	-



第176図 接合資料20 (2)



第177図 接合資料21 (1)



第178図 接合資料21 (2)

接合資料26（第198図）

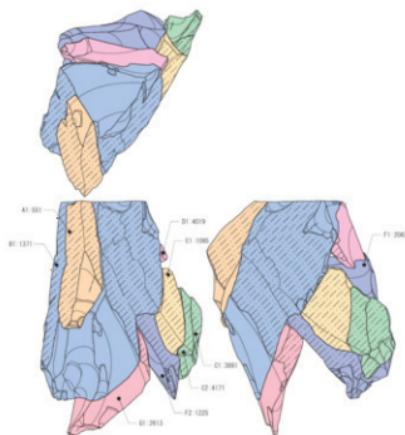
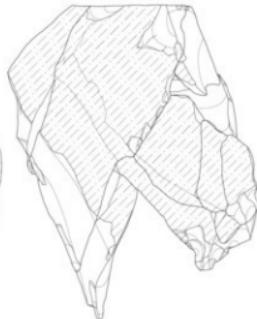
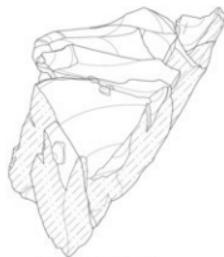
集中部5で出土した剥片接合資料である。石材は細い節理がわずかに入るだけの良好な石材である。

全体的に剥離を行った後の厚さ2~3cm程度の薄手の剥片素材を利用している。A剥離後に、連続的に剥離されている剥片は打面再生のための剥片である。目的的剥片と考えられる資料は接合していない。

接合資料27（第199図・第200図）

集中部5で出土した剥片接合資料である。石材の一部に集中的な節理が入る。良質な母材を得るために節理集中部、風化面を除去する目的で剥離を行っている。A剥離は打面形成のための剥離と考えられる。

接21 剥離順： [[A1 → B1 → (C1 + C2) → D1 → E1 → F1 → F2 → G1]] + [((H1 + H2 + H3 + H4 + H5) → I1 → J1) + [K1 → L1 → M1 → N1 → N2 → O1 → O2]]



接合資料21 a



第179図 接合資料21(3)

接合資料28（第201図）

集中部5を中心に出土した剥片接合資料である。1点のみエリア1：集中部1から出土している。石材は薄く層理が認められるが全体として良質な石材である。

細かな打面調整を施された平坦面から連続的に剥離を行っている。目的的剥片は、長さ約5cmと考えられる。接合している剥片は、剥離に失敗し不定形となった剥片のみである。

接合資料29（第202図）

集中部5から出土した剥片接合資料である。石材は節理が若干入るもので硬質で良質なものである。当初の素材石核としての形状は、角柱状を呈すると思われる。

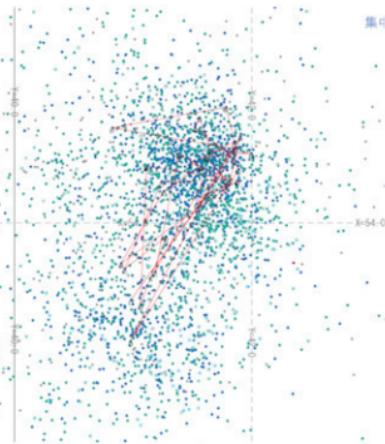
接合しているのは側面から剥離を行った打面調整剥片である。一部に目的的剥片を剥離した痕跡が残される。



第180図 接合資料21（4）

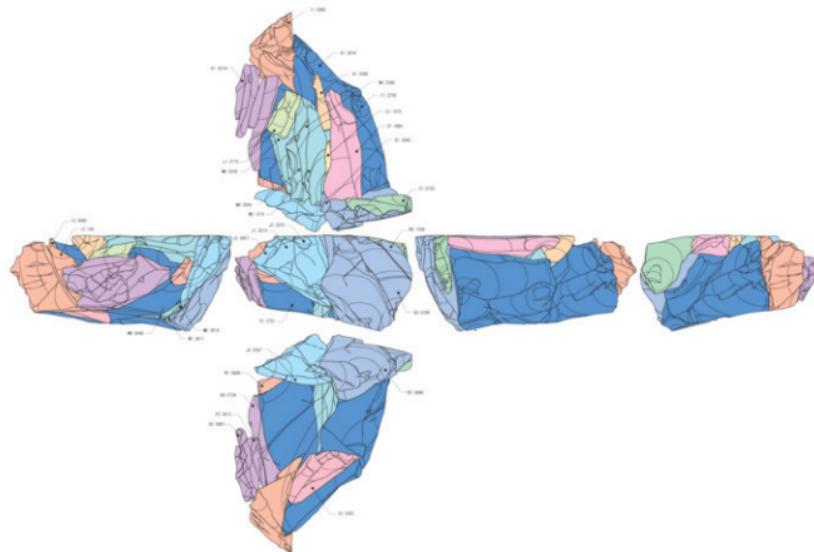


第181図 接合資料21 (5)

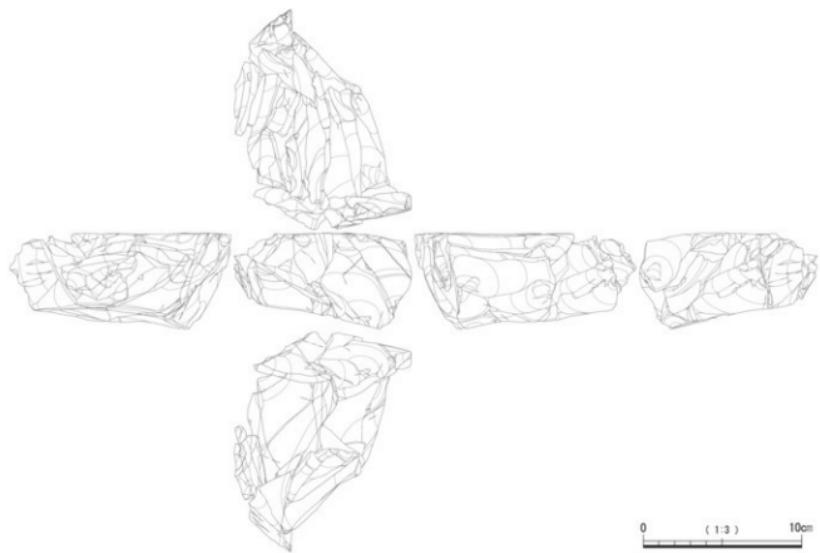
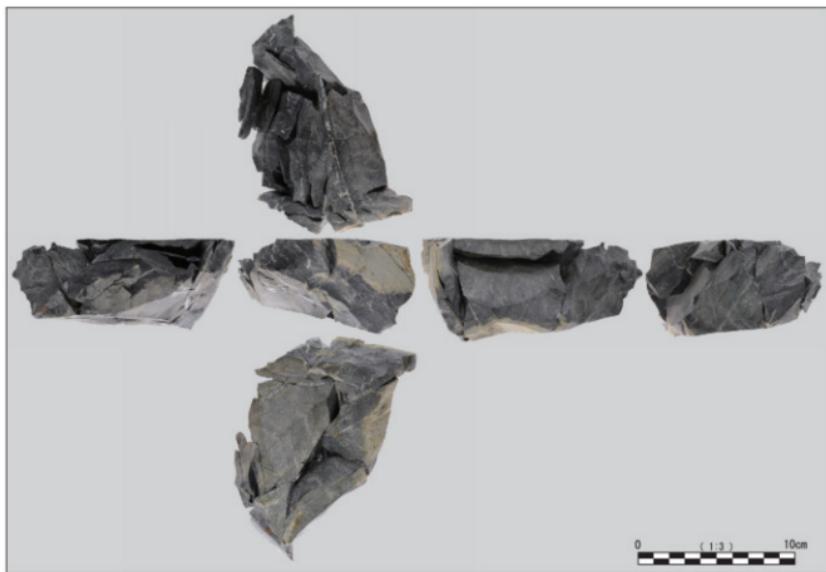


面番	面積	頂上N	集中部 (1)	集中部 (2)	X座標	Y座標	Z座標	頂位	整理	重量	備考
22	A1	3300	集中部5	集中部5	54.420	41.840	141.190	120	削片	2.6	-
22	B1	2942	集中部5	集中部5	54.302	40.825	141.246	120	削片	0.5	-
22	B2	3096	集中部5	集中部5	54.977	41.765	141.211	120	削片	39.1	-
22	B3	2106	集中部5	集中部5	54.430	41.964	141.2	120	削片	32.8	-
22	B4	1020	集中部5	集中部5	54.161	41.533	141.4	120	削片	2.3	-
22	C1	2720	集中部5	集中部5	54.322	41.797	141.227	120	削片	10.1	-
22	D1	1080	集中部5	集中部5	53.282	41.962	141.280	120	削片	26.1	84
22	E1	2100	集中部5	集中部5	54.322	41.797	141.227	120	削片	6.9	-
22	F1	2720	集中部5	集中部5	54.490	41.727	141.210	120	削片	120.4	53
22	G1	2351	集中部5	集中部5	54.737	41.964	141.260	120	削片	11.3	-
22	H1	3016	集中部5	集中部5	54.37	41.82	141.217	120	石綿	72.6	52
22	I1	2460	集中部5	集中部5	54.362	41.485	141.237	120	削片	40	70
22	J1	3090	集中部5	集中部5	54.486	41.852	141.209	120	削片	5.7	-
22	K1	164	集中部5	集中部5	53.063	40.977	141.277	120	削片	3.3	-
22	L1	3310	集中部5	集中部5	54.452	41.889	141.136	120	削片	8.9	-
22	M1	3222	集中部5	集中部5	54.544	41.947	141.19	120	削片	8.2	-
22	N1	3467	集中部5	集中部5	54.307	41.52	141.139	120	削片	7.9	-
22	O1	2997	集中部5	集中部5	54.889	41.56	141.232	120	削片	4.6	-
22	P1	3214	集中部5	集中部5	54.408	41.652	141.196	120	削片	2.5	-
22	Q1	3091	集中部5	集中部5	54.580	41.996	141.190	120	削片	10.5	-
22	R1	3412	集中部5	集中部5	54.357	41.611	141.194	120	削片	3.7	-
22	S1	2740	集中部5	集中部5	54.241	41.229	141.179	120	削片	10.7	122
22	T1	2351	集中部5	集中部5	54.241	41.229	141.179	120	削片	5.7	-
22	U1	3611	集中部5	集中部5	53.412	40.81	141.165	120	削片	1.6	-
22	V2	1240	集中部5	集中部5	52.082	41.279	141.235	120	削片	1.1	-
22	W3	1074	集中部5	集中部5	53.21	41.062	141.294	120	削片	6.6	76
22	X4	2204	集中部5	集中部5	54.479	41.114	141.254	120	削片	19	135
22	Y5	3010	集中部5	集中部5	54.358	41.881	141.256	120	削片	4.4	-
22	Z6	3554	集中部5	集中部5	53.66	40.899	141.202	120	削片	7.5	-
22	M7	2594	集中部5	集中部5	54.267	41.250	141.230	120	削片	2.3	-
22	N8	3540	集中部5	集中部5	54.474	41.573	141.167	120	削片	12.8	-
22	W9	3249	集中部5	集中部5	54.584	41.363	141.195	120	削片	9.61	-
22	N10	3800	集中部5	集中部5	53.587	41.196	141.198	120	削片	0.3	-
22	Q11	2751	集中部5	集中部5	54.236	41.985	141.22	120	石綿	102.8	51

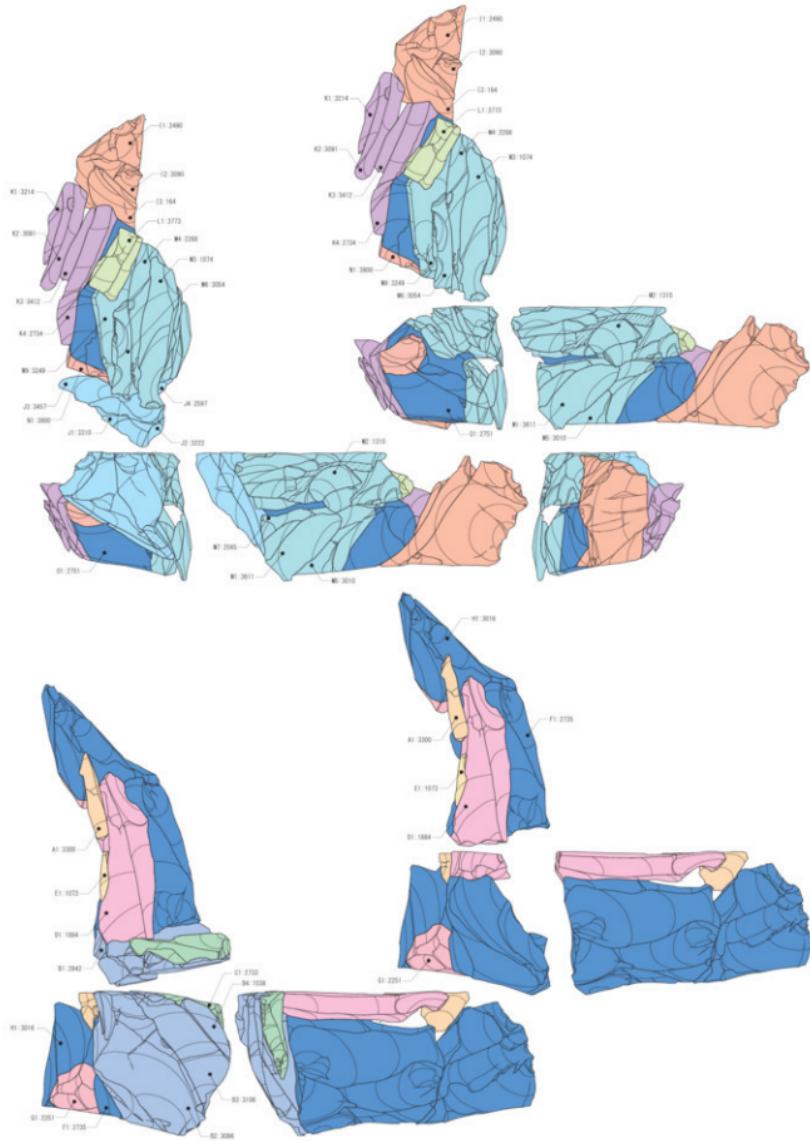
接22 剥離順： [[A1→B1→B2→B3→B4→C1→(D1→E1)→F1] → [G1→H1]] → [[11→12→I3→(J1+J2)→(J3+J4)→K1→K2→K3→K4→L1→(M1+M2)→M3→M4→M5→M6→M7→M8→M9→N1→O1]]



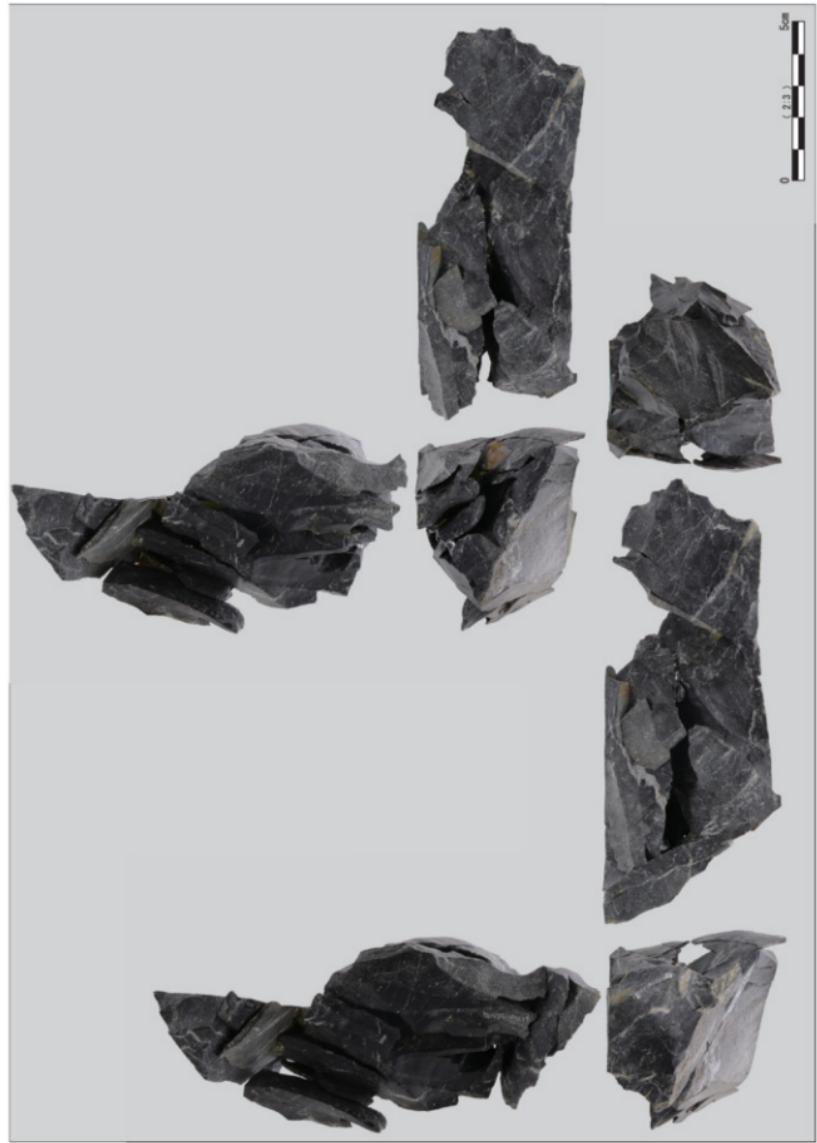
第182図 接合資料22 (1)



第183図 接合資料22（2）



第184図 接合資料22 (3)



第185図 接合資料22(4)



接合資料22 b

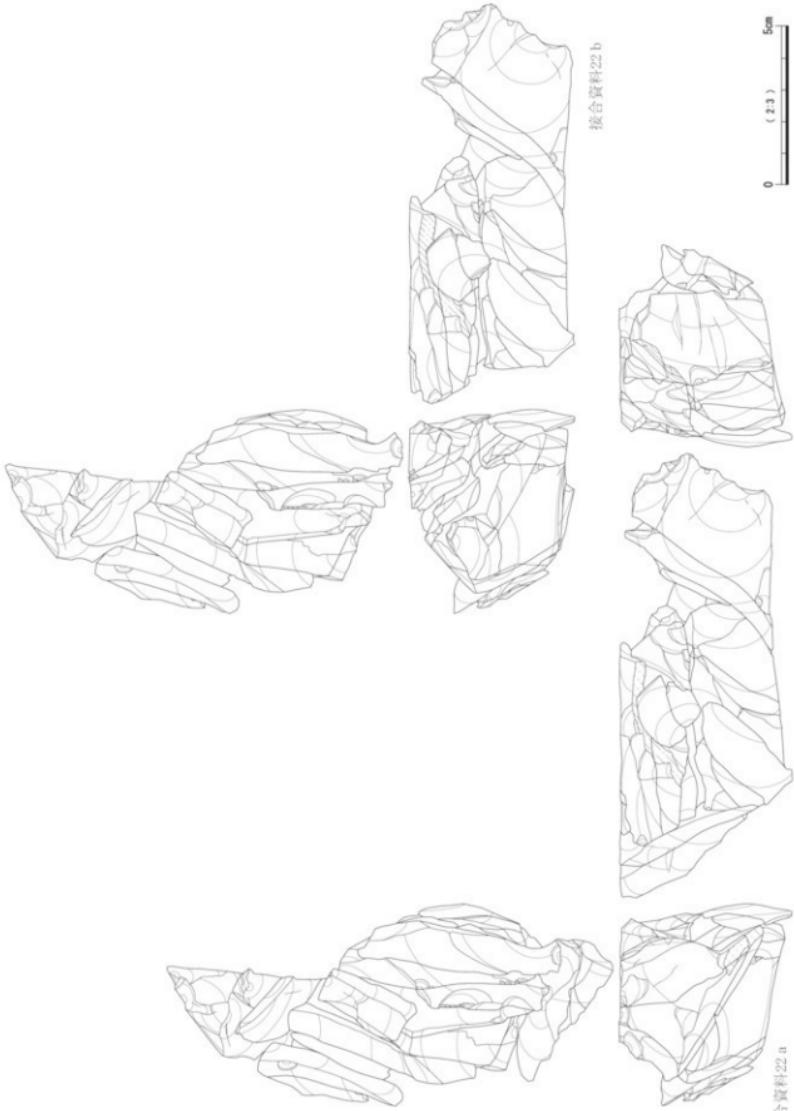
(23)

5cm

接合資料22 a

(23)

第187圖 接合資料22 (6)



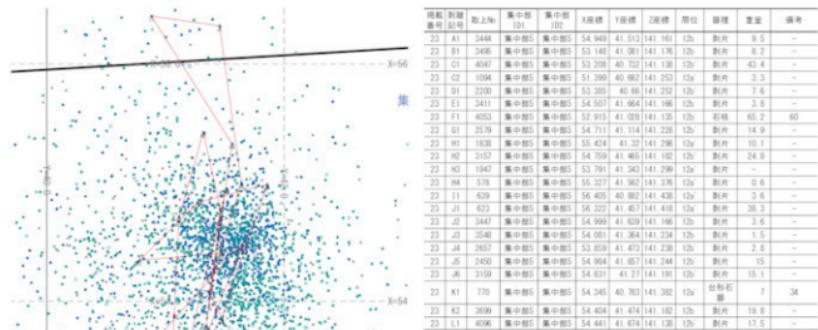
第188圖 接合資料22 (7)

接合資料22 d

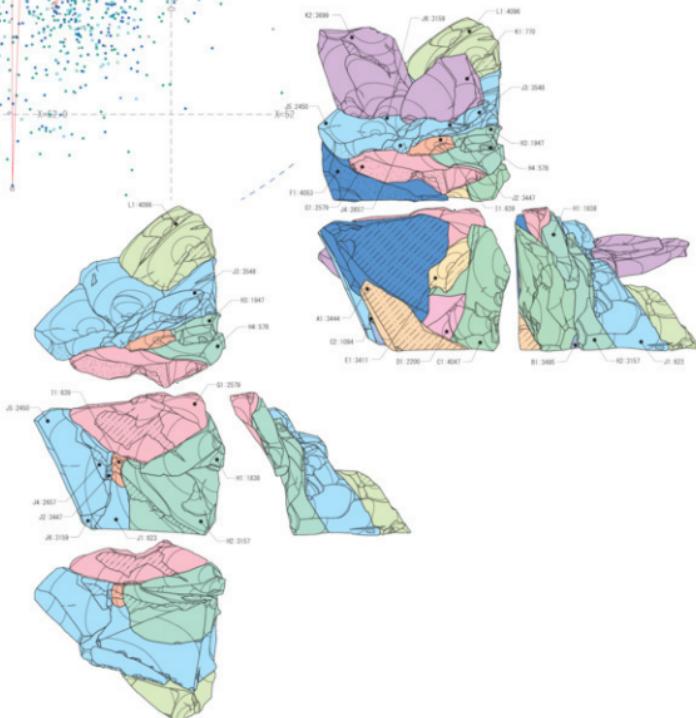
接合資料22 c

0 (2.1) 5cm





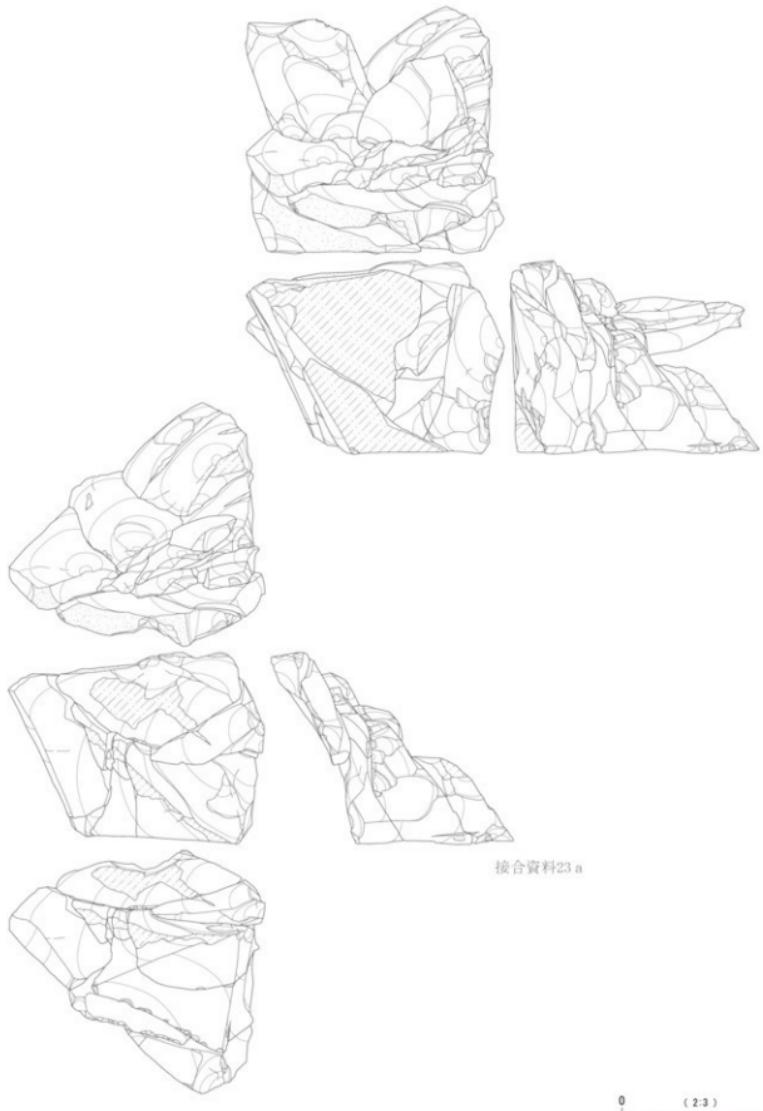
接23 別離順：〔A1→B1→(C1+C2)→D1→E1→F1〕→
 〔G1→H1→(H2+H3+H4)→I1→J1→J2→J3→J4→J5→J6〕
 →〔K1→K2→L1〕



第189図 接合資料23 (1)

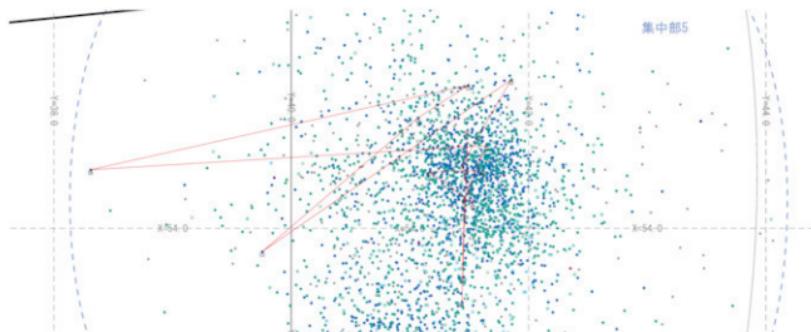


第190図 接合資料23(2)



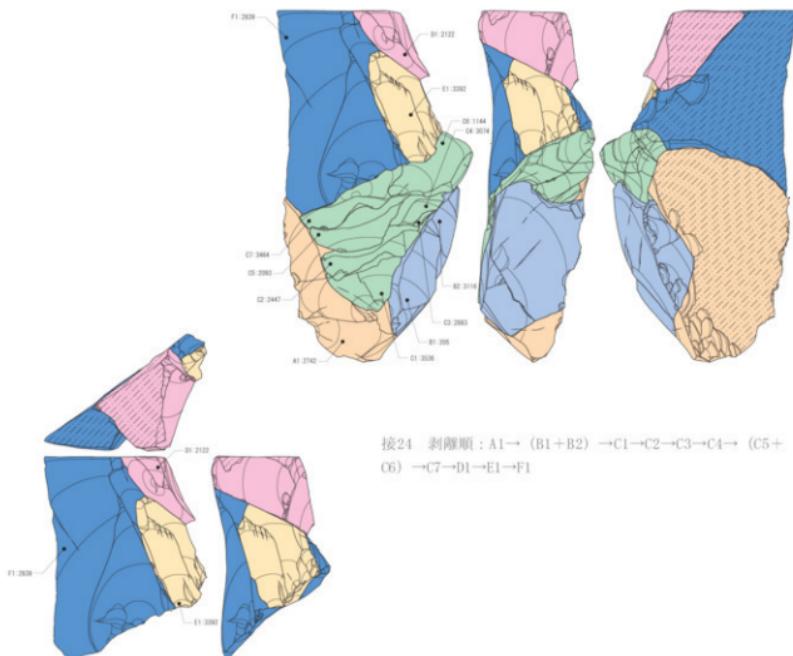
接合資料23 a

第191図 接合資料23 (3)



標記	剥離順	取上部	集中部	(I)	集中部	(II)	X座標	Y座標	Z座標	部位	修理	重量	備考
24_A1	2742	集中部5	集中部5	54.480	41.612	(41.207)	120			剥片	99.4	-	
24_B1	205	集中部5	集中部5	54.479	41.166	(41.446)	120			剥片	19.4	-	
24_B2	3116	集中部5	集中部5	54.203	41.53	(41.201)	120			嵌入石	34.0	40	
24_C1	3036	集中部5	集中部5	54.536	41.459	(41.170)	120			剥片	11.3	-	
24_C2	3447	集中部5	集中部5	55.254	41.654	(41.273)	120			剥片	13.5	-	
24_C3	2803	集中部5	集中部5	53.852	39.755	(41.196)	120			剥片	0.0	-	
24_D1	3074	集中部5	集中部5	54.932	41.068	(41.187)	120			剥片	13.6	-	

標記	剥離順	取上部	集中部	(I)	集中部	(II)	X座標	Y座標	Z座標	部位	修理	重量	備考
24_E5	2090	集中部5	集中部5	55.207	41.491	(41.261)	120			剥片	9.8	-	
24_G6	1141	集中部5	集中部5	54.494	38.309	(41.296)	120			剥片	18.7	-	
24_G7	3464	集中部5	集中部5	54.690	41.643	(41.206)	120			剥片	7.1	-	
24_H1	2122	集中部5	集中部5	54.240	41.457	(41.249)	120			剥片	30.7	-	
24_I1	3202	集中部5	集中部5	53.378	41.420	(41.198)	120			剥片	12.4	90	
24_J1	2539	集中部5	集中部5	54.921	41.405	(41.207)	120			右耳	117	50	



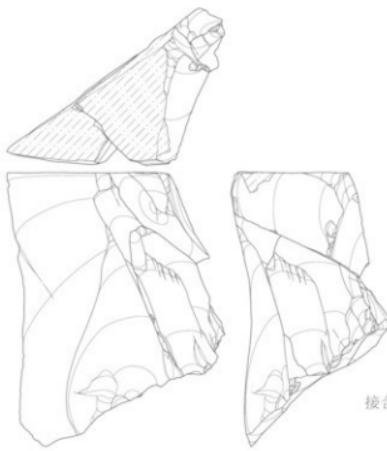
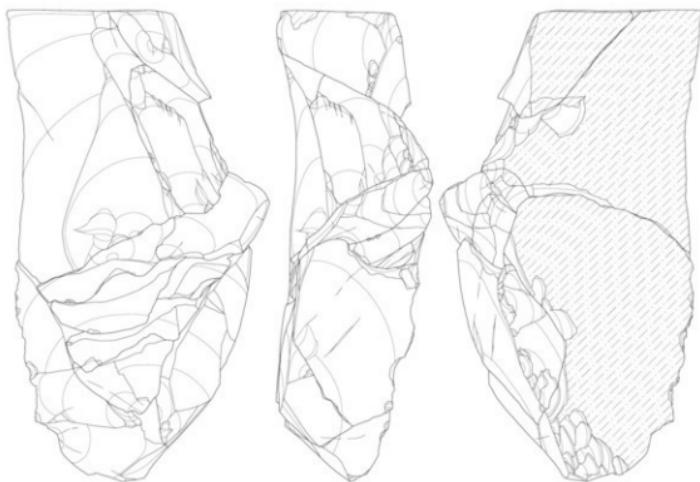
接24 剥離順 : A1 → (B1+B2) → C1 → C2 → C3 → C4 → (C5+C6) → C7 → D1 → E1 → F1

第192図 接合資料24 (1)



0 (2.3) 5cm

第193図 接合資料24(2)



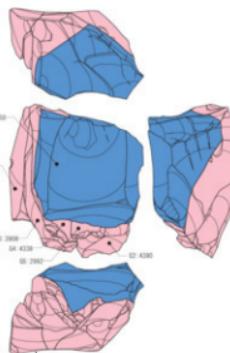
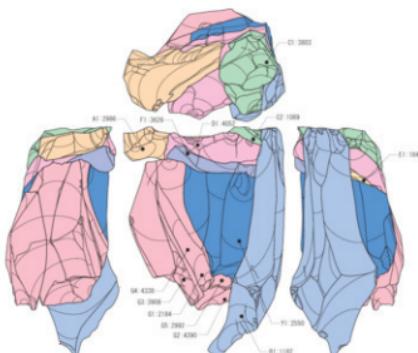
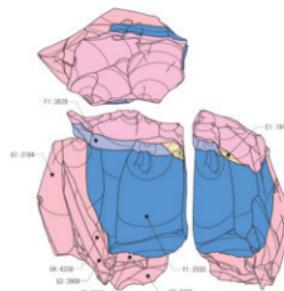
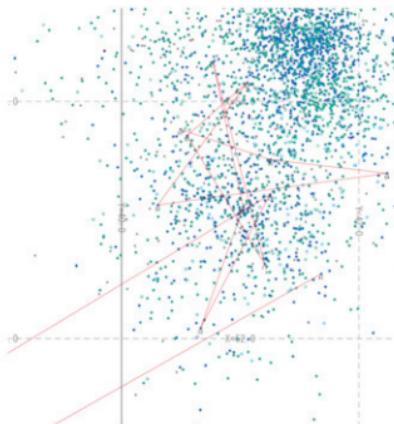
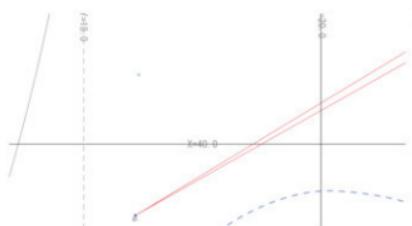
接合資料24 a



第194図 接合資料24 (3)

段階	剥離 番号	剥離 順序	集中番 号	集中番 号 (D)	X座標	Y座標	Z座標	層位	種類	重量	備考
25	A1	2986	集中853	集中853	52.540	41.652	(41.190)	12b	剥片	10.5	-
25	B1	1102	エリヤ1	集中854	39.390	18.434	(40.660)	12b	剥片	41.3	12
25	C1	3803	集中855	集中855	53.216	41.251	(41.176)	12b	剥片	2.9	-
25	C2	1089	集中855	集中855	52.089	40.666	(41.296)	12b	剥片	3.7	-
25	D1	4039	集中855	集中855	53.109	41.024	(41.136)	12b	剥片	26.3	-
25	E1	1840	集中855	集中855	54.232	40.771	(41.294)	12b	剥片	0.6	-
25	F1	1103	集中855	集中855	53.712	41.171	(41.176)	12b	剥片	4.7	-
25	G1	2184	集中855	集中855	53.712	40.652	(41.176)	12b	剥片	-	-
25	G2	4398	集中855	集中855	54.176	41.059	(41.023)	12b	剥片	21.9	-
25	G3	3908	集中855	集中855	53.177	40.206	(41.151)	12b	剥片	12.4	89
25	H1	4328	集中855	集中855	52.285	42.237	(41.086)	12b	剥片	23.6	-
25	I1	2992	集中855	集中855	53.511	41.258	(41.223)	12b	剥片	3.6	-
25	J1	2550	集中855	集中855	52.765	40.416	(41.211)	12b	石核	74.7	63

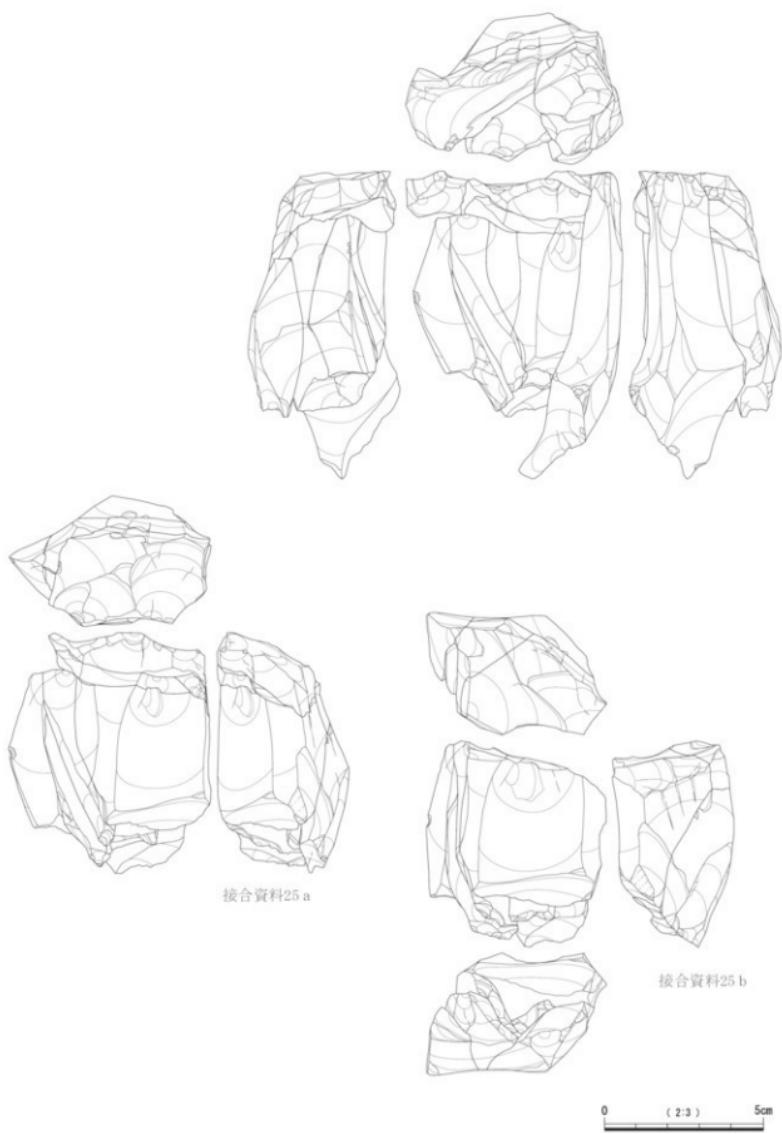
接25 剥離順：A1→B1→C1→C2→D1→E1→F1→G1→G2→
G3→G4→G5→H1



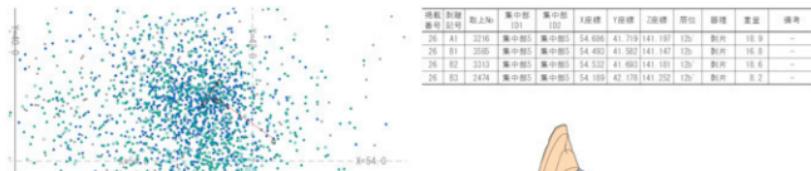
第195図 接合資料25（1）



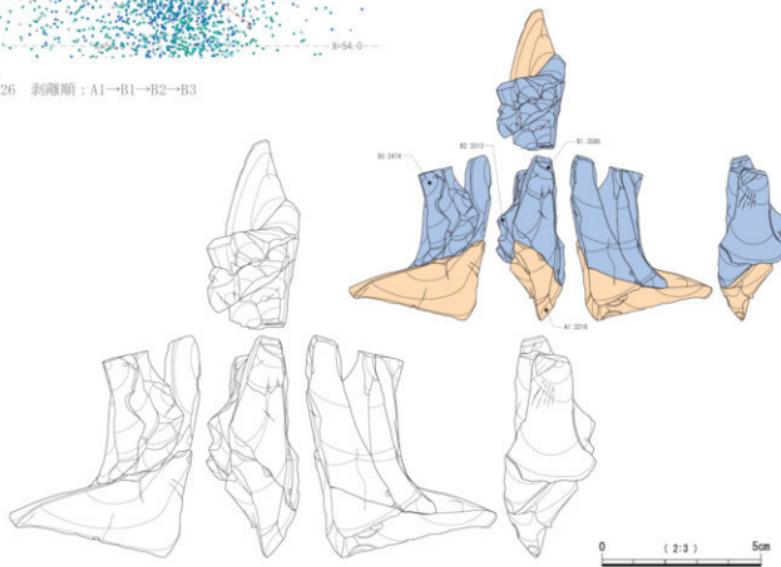
第196図 接合資料25 (2)



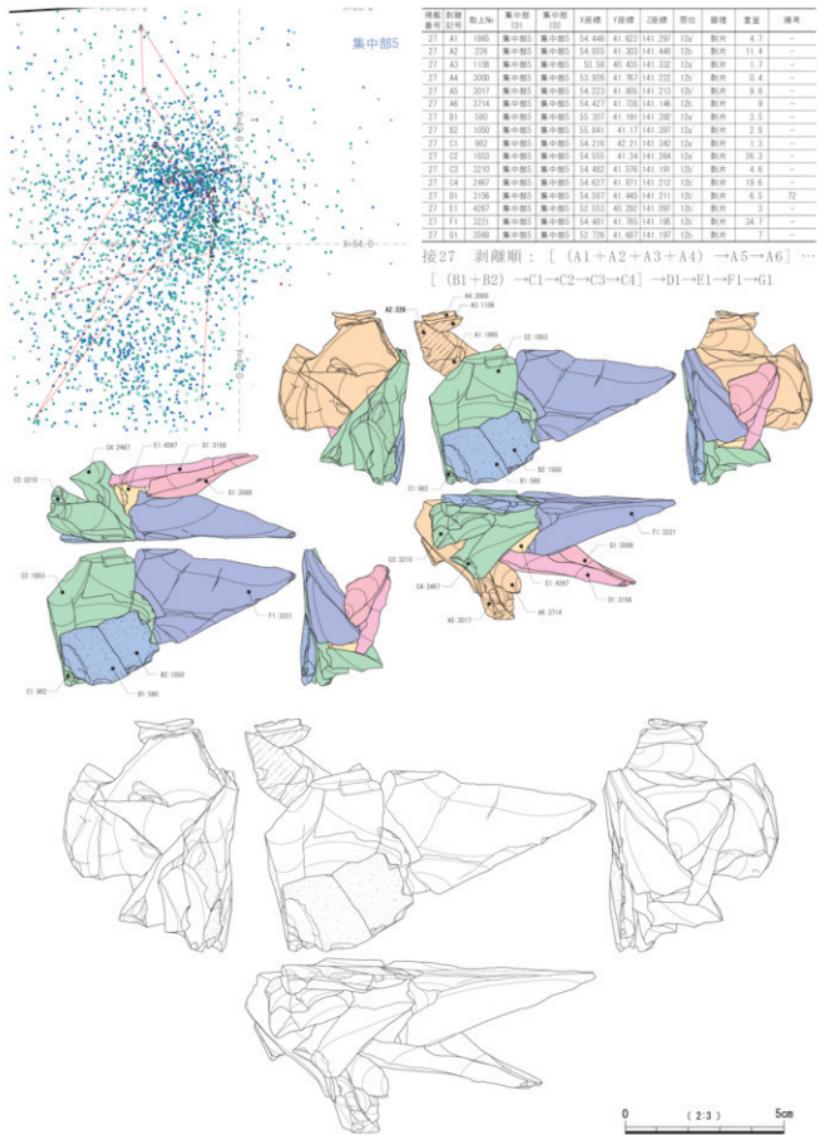
第197図 接合資料25 (3)



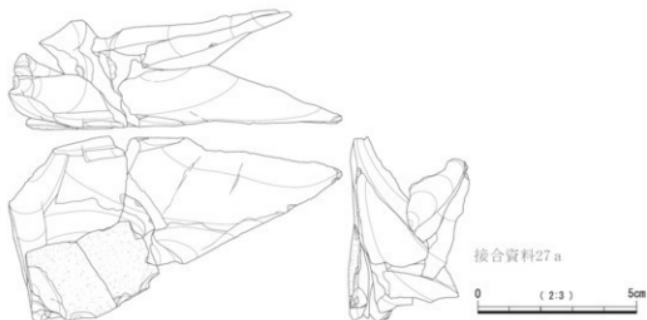
接26 剥離順 : A1→B1→B2→B3



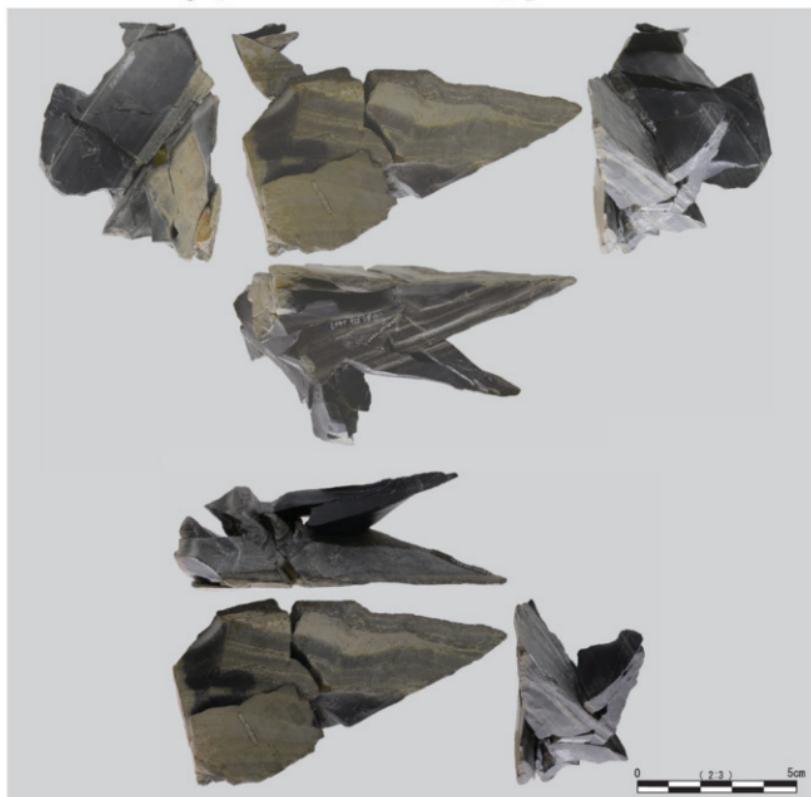
第198図 接合資料26



第199図 接合資料27 (1)



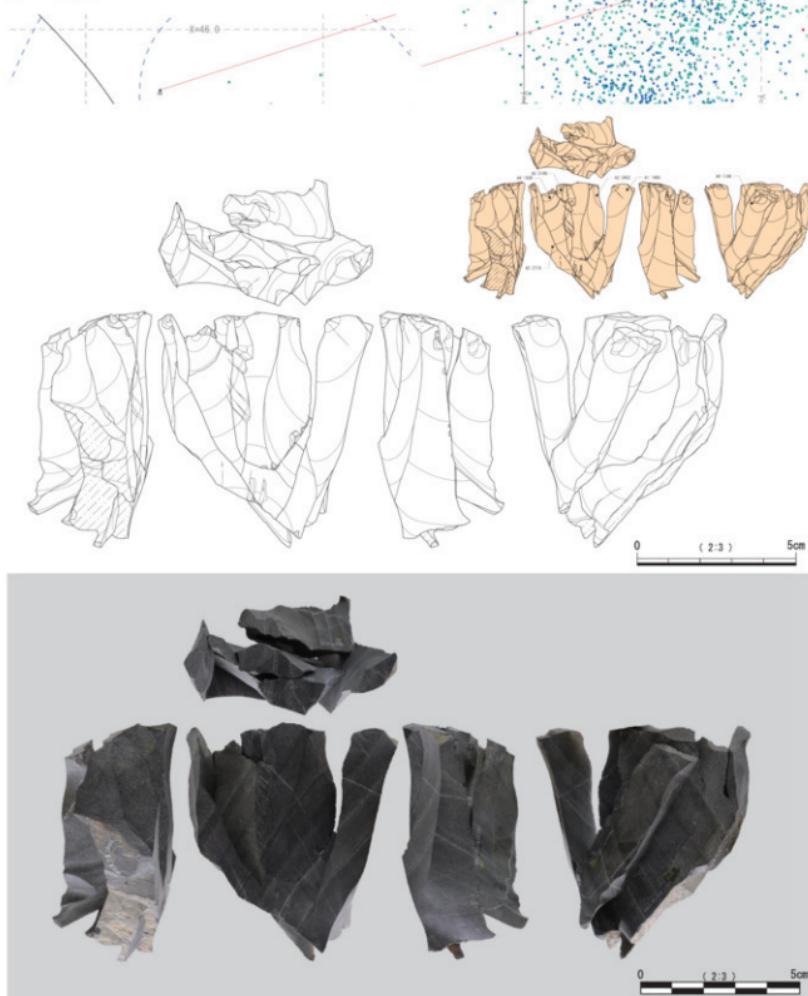
接合資料27 a



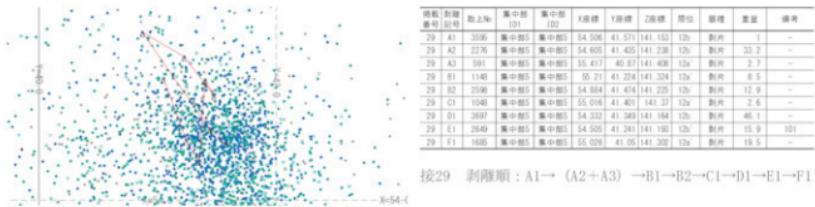
第200図 接合資料27 (2)

接合 番号	剥離 番号	取上番号	集中番 号	集中部 番号	X座標	Y座標	Z座標	層位	種類	重量	備考
28	A1	1390	集中853	集中部5	54.702	40.676	(41.267)	12b	剥片	15.3	104
28	A2	2718	集中853	集中部5	54.588	41.759	(41.211)	12b	剥片	11.6	-
28	A3	3452	集中853	集中部5	54.924	41.71	(41.19)	12b	剥片	15.7	-
28	A4	1930	集中853	集中部5	54.073	41.799	(41.3)	12b	剥片	27.7	134
28	A5	2199	集中853	集中部5	54.120	41.588	(41.181)	12b	剥片	14.5	121
28	A6	1396	エリヤ1	集中部1	40.488	14.624	(14.52)	12b	剥片	15.1	11

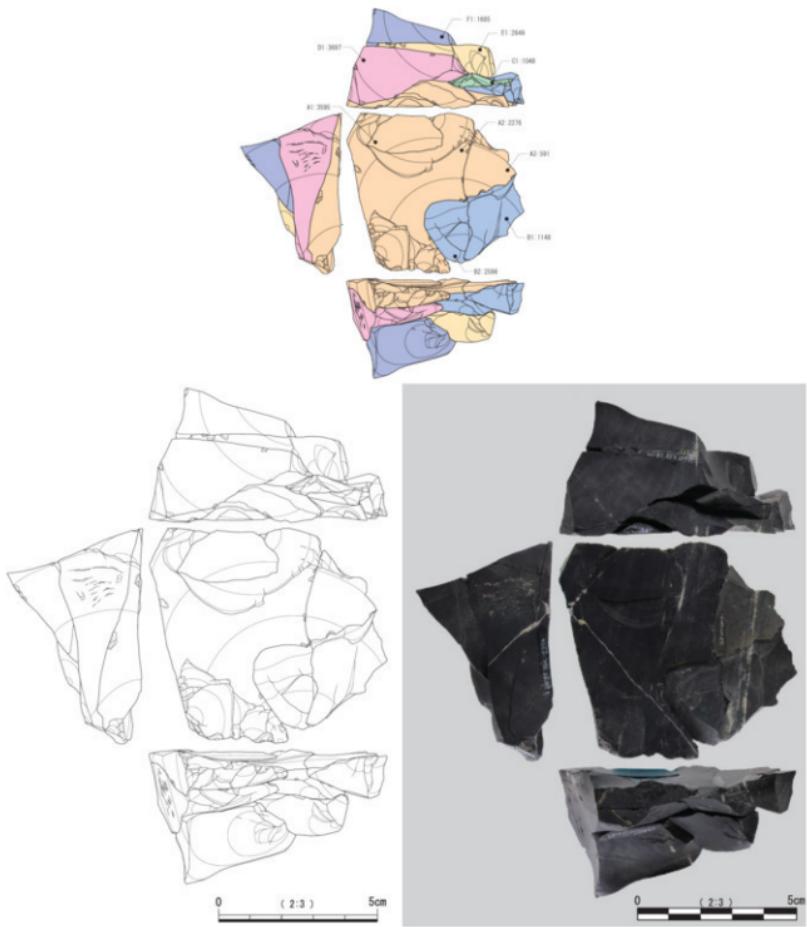
接28 剥離順: A1→A2→A3→A4→A5→A6



第201図 接合資料28



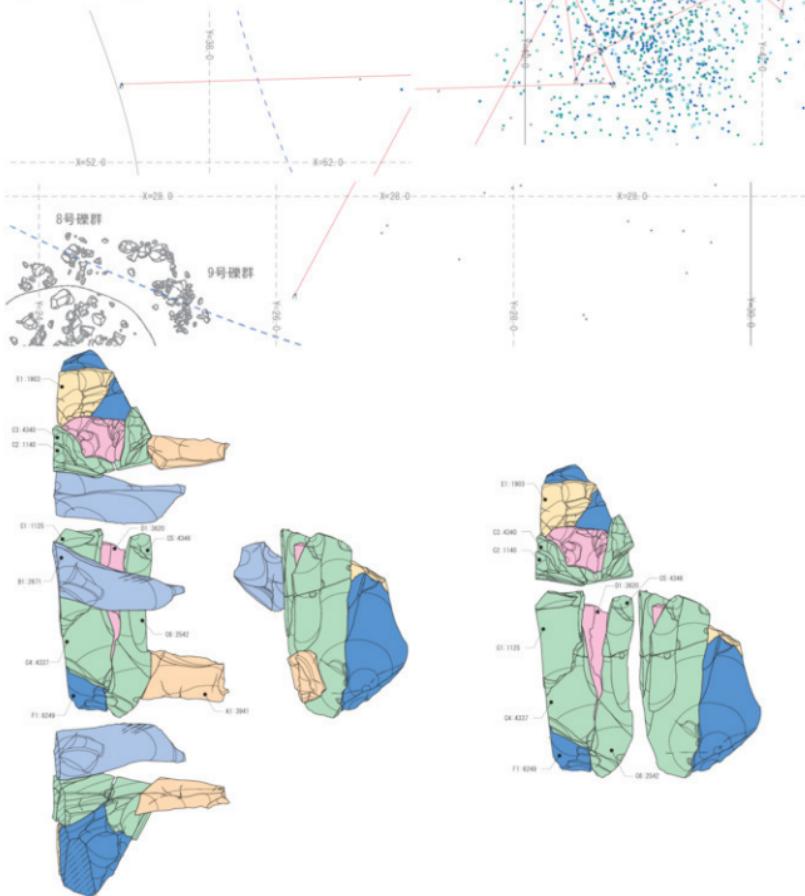
接29 剥離順 : A1 → (A2+A3) → B1 → B2 → C1 → D1 → E1 → F1



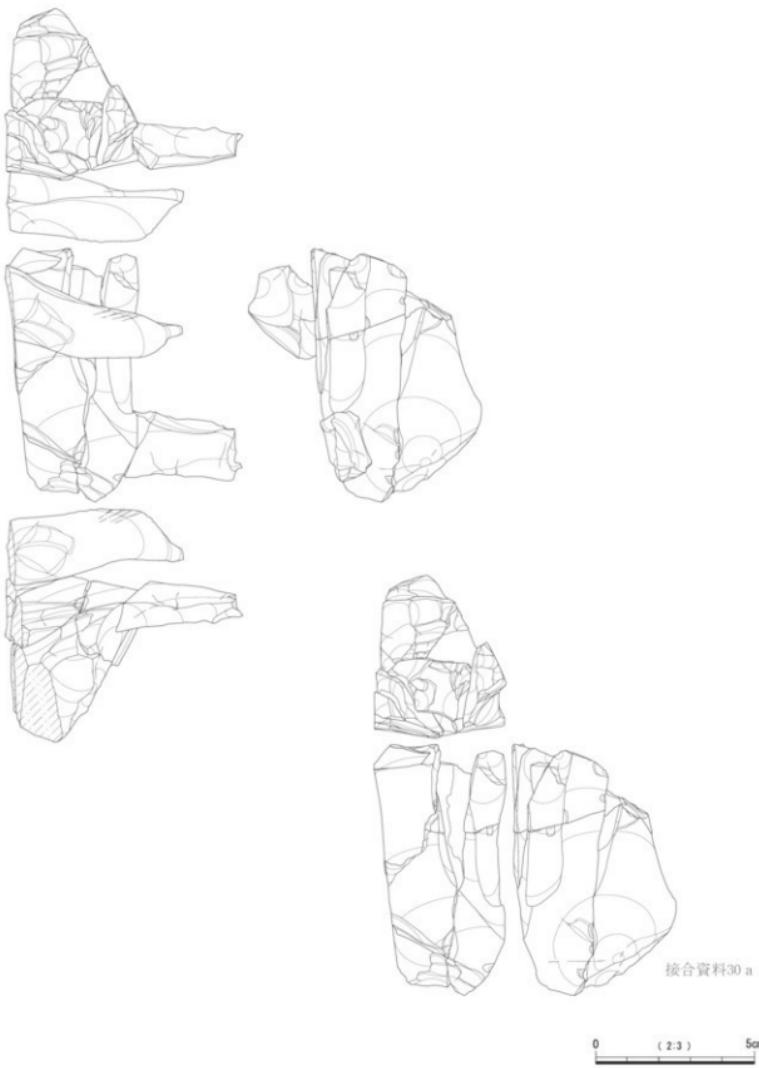
第202図 接合資料29

坑名 番号	剖面 記号	取上場 目次	集中部 100	集中部 100	X座標	Y座標	Z座標	層位	種類	重量	備考
30 A1	2640	エリップ	エリップ 集中部外	52.661	37.259	41.208	12a	剥片	9.5	-	
30 B1	2671	集中部5	集中部5	52.768	40.748	41.169	12b	剥片	20.3	-	
30 C1	1125	集中部5	集中部5	52.859	40.257	41.251	12a	剥片	2.8	-	
30 C2	4340	集中部5	集中部5	52.859	40.257	41.251	12a	剥片	2.7	-	
30 C4	4337	集中部5	集中部5	52.378	42.164	41.108	12b	剥片	16	-	
30 C5	4346	集中部5	集中部5	52.627	41.881	41.038	12b	剥片	6.7	-	
30 D8	2542	集中部5	集中部5	52.997	40.532	41.205	12b	剥片	19.5	-	
30 E1	3620	集中部5	集中部5	52.806	40.431	41.167	12b	剥片	22.2	-	
30 E1	1902	集中部5	集中部5	52.635	40.322	41.298	12a	剥片	6.7	-	
30 F1	6249	エリップ	エリップ9	27.172	26.158	41.181	12b	岩様	67.1	199	

接30 剥離順: A1 → [B1 → [C1-C2 → (C3+C4) → (C5+C6) → D1-E1-F1]]



第203図 接合資料30 (1)

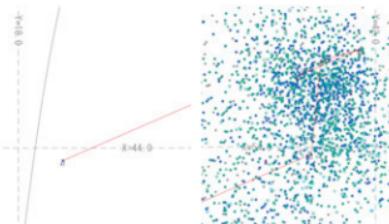


第204図 接合資料30 (2)

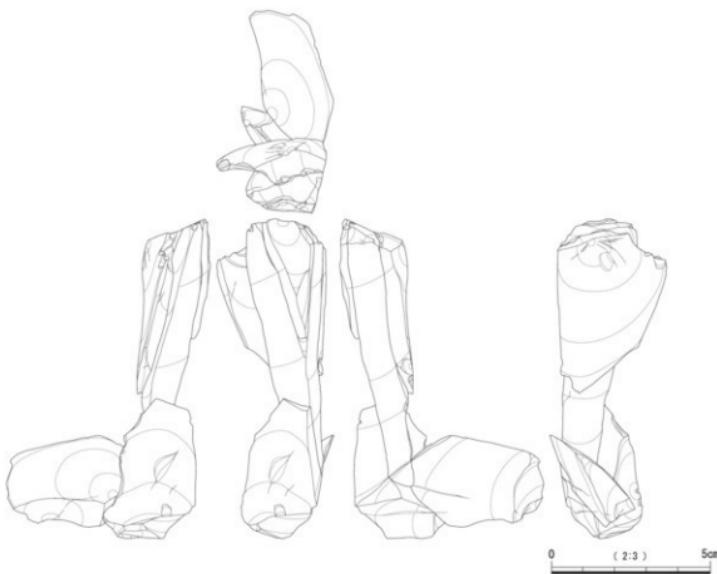
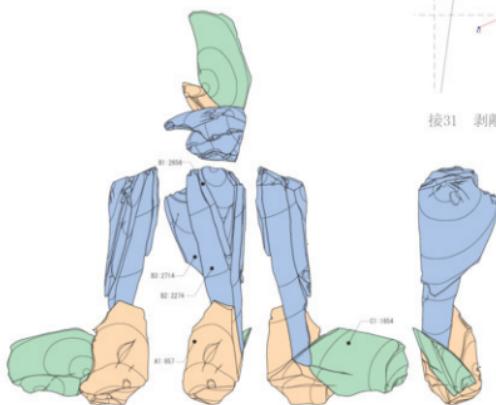


第205図 接合資料30 (3)

段階	剥離 部番号	剥離 部上部 部番号	集中部 (D)	集中部 (D)	X座標	Y座標	Z座標	層位	面積	周長
31	A1	657	集中部A1	43.693	19.375	140.626	12h	剥片	17.3	-
31	B1	2606	集中部B1	52.938	41.457	141.232	12h	剥片	1.7	-
31	B2	2274	集中部B2	54.727	41.541	141.232	12h	剥片	21.4	80
31	B3	2714	集中部B3	54.823	41.069	141.213	12h	剥片	15.4	127
31	C1	1054	集中部C1	54.602	41.251	141.266	12h	剥片	13.1	-



接31 剥離順：(A1) → (B1→B2→B3) → C1



第206図 接合資料31 (1)



第207図 接合資料31（2）

接合資料30（第203図～第205図）

集中部5を中心に出土した石核接合資料である。集中部5の範囲からわずかに離れたところの剥片とエリア9に出土する石核が各1点接合する。A, B, C以降の3つに大きく分割される。C上面に打面を形成した後、打点を移動しながら連続的に剥片剥離を行っている。しかし良好な目的的剥片は剥離できていない。

執筆中にCの打面を形成するための打面調整剥片が接合した。

接合資料31（第206図・第207図）

集中部5を中心に出土した剥片接合資料である。エリア1出土の剥片が1点接合している。両極からの剥離が行われている。長さ5cm程度の目的的剥片を剥離することを意識しているものと思われる。

エリア4：集中部6

集中部6を含むエリア4は、C・D・E・F区に形成され3m×2.5m程度の楕円形状に遺物が分布する。頁岩の小さな剥片が主体を占め、わずかに黒曜石の剥片が出土する。

接合資料32（第208図）

集中部6およびエリア4で出土した石核接合資料である。掌大の石核で、節理面で分割された平坦面を打面としている。打点移動を繰り返し目的的剥片を剥離しているが、良好な形態のものは剥離できていない。目的的剥片は、長さ5cm前後と想定される。

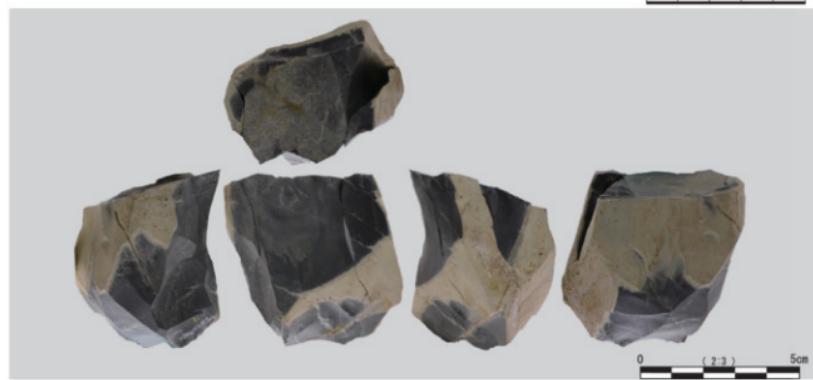
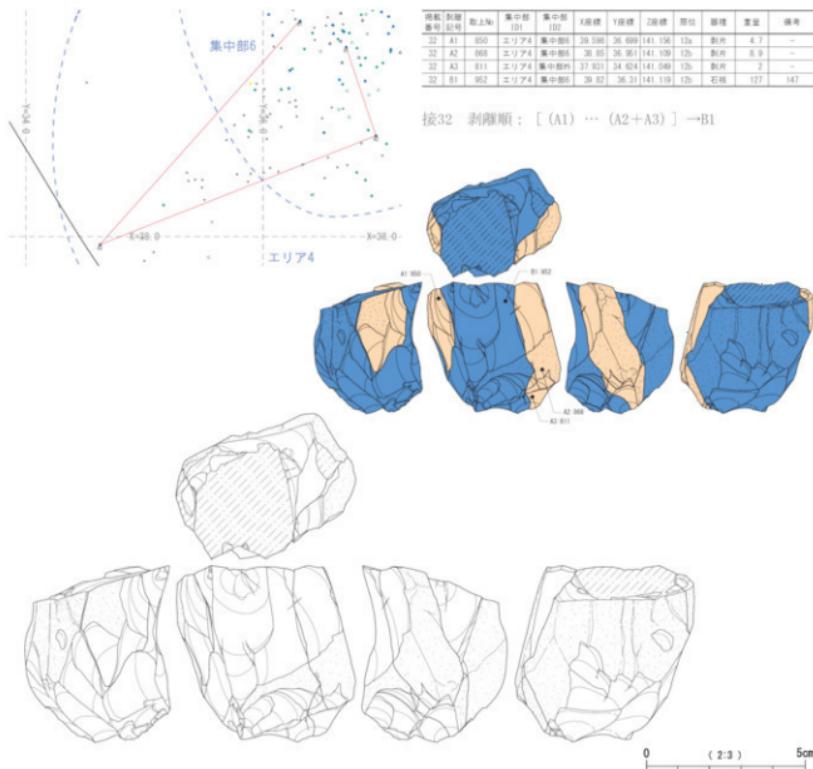
エリア8：集中部12・13

D・E・F区に形成されている遺物集中域である。頁岩を中心にして剥片、石核等が出土している。わずかに黒曜石の剥片も分布する。

やや大ぶりの剥片を多く出土する部分を集中部12・13とし、その周辺で遺物が散布している領域をエリア8と呼称した。

接合資料33（第209図～第211図）

エリア8：集中部12で出土した。剥片接合資料である。幅7cm、厚さ6cm程度の角柱状の素材を利用している。形成した打面で打点移動を行い、連続的に剥片を剥離しているが、定型的な目的的剥片は剥離できていない。途中で対極からの剥離も行われている。



第208図 接合資料32

接合資料34（第212図～第215図）

集中部12で出土した石核接合資料である。1点のみ集中部外出土の剥片が接合している。石材は大きな節理が発達し決して良質なものとはいえない。当初の母材は小兎頭大ほどあるものと思われる。全面大きな剥離が行われ、外皮面は一切残さない素材を形成し、両極からの剥離が行われている。

素材から大きく剥離を行い、その後、細かな打面調整を行う。打面形成後、打点を移動しながら複数枚の剥片を剥離しているが、節理に阻まれ意図した剥離は行われていない。

接合資料35（第216図～第221図）

エリア8：集中部12・13で出土した石核接合資料である。石材には大きな節理も見られるが、おおむね良好な石材といえよう。厚さ8cm程度の板状で三角形を呈する。

同一方向から階段状に剥離が進行している。打面再生、打面調整を繰り返しながら、同一方向からの剥離を継続した結果が看取できる。

剥離が進行し、小型化した石核の上面に打面調整剥片が接合することからも、上記の作業が繰り返されたことが裏付けられる。また、剥離途中で逆位からの剥離も適宜行われている。

目的的剥片は、長さ5～6cm程度を意識していたものと考えられる。

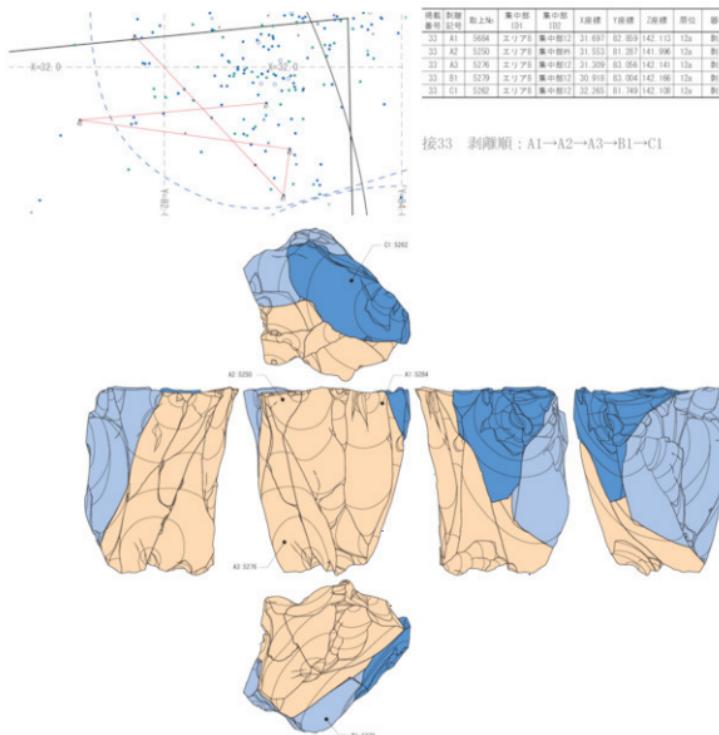
接合資料36（第222図～第224図）

集中部13で出土した石核接合資料である。節理面で分離した扁平な剥片を母材として剥離を行っている。

厚さ2.5cmほどの薄い母材であるが、細かく打面調整を行いながら、打点移動し剥離を行っている。

番号	剥離順	剥離上場	集中部	集中部	X底標	Y底標	Z底標	原位	節理	重量	備考
33 A1	5684	エリア8	集中部12	31.497	82.059	142.15	150	剥片	91.5	-	
33 A2	5750	エリア8	集中部9	31.553	81.267	141.906	150	剥片	11.83	-	
33 A3	5276	エリア8	集中部12	31.309	83.056	142.14	150	剥片	63.1	-	
33 B1	5279	エリア8	集中部12	30.918	83.004	142.166	150	剥片	83.1	-	
33 C1	5362	エリア8	集中部12	32.265	81.749	142.10	150	剥片	61.6	-	

接33 剥離順：A1→A2→A3→B1→C1



第209図 接合資料33（1）